

リアホナ

立ち直りの早い
子供の育て方、
10ページ

結婚するにふさわしい時期は、
いつなのでしょう？ 38ページ

自分らしくいられる人は、
仮面をかぶらないのです、48ページ

ふっかつさいの かつどう—
イエス・キリストを おもい おこす、
68ページ



「わたしたちは
盲目だから
従うのでは
ありません。
見えるからこそ
従うのです。」

十二使徒定員会会長
ボイド・K・バッカー会長
「自由意志と規制」
『聖徒の道』1983年7月号、
115-116参照



メッセージ

4 大管長会メッセージ——

静まれ、黙れ
トーマス・S・モンソン大管長

7 家庭訪問メッセージ——

活発化

特集

10 立ち直りの早い子供に育てる

ライル・J・バラップ
子供たちには、問題が起きてもそこから立ち直る力が必要です。彼らがこの重要な特質を身に付けるために、両親が助けられる幾つかの方法をご紹介します。

16 君は自由だ

D・トッド・クリストファーソン長老
〔この世の生活の中で何かを〕選ぶとは、どの権威に従うかということです。つまり、神に従うか、それともサタンに従うかです。

20 自立の原則を実践する

ラリー・ヒラー、
キャサリン・H・オルソン
つらいときだけではなく平安なときにも、自立は大切なのです。

22 神の言葉の力

マイケル・ジョン・U・テー長老
聖文を毎日研究するならば、霊的な強さを築き上げ、悪魔の欺きを見破ることができるようになります。

26 什分の一の祝福

5人の会員が什分の一を払うことから得た証を分かち合います。

30 キリストを中心とした復活祭の伝統を作る

ダイアン・L・マンガム
贖いは復活祭の中心を成すものです。義になかった伝統は、救い主から頂くこの賜物に焦点を当てるうえで役立ちます。

シリーズ

8 10月の大会ノート

33 『若人の強さのために』を教える——家族の大切さ

34 末日聖徒の声

74 教会のニュース

80 また会う日まで——危険区域からの救助
ラッセル・ウェスタガード

表紙

表紙——
フォトイラスト/コーディ・ベル
裏表紙——
フォトイラスト/クレグ・ダイヤモンド
内表紙——
アメリカ合衆国オレゴン州にある
ヘセタヘッド灯台の写真/ロイス・ペアー
©Getty Images



38

38 結婚するにふさわしいとき

アリッサ・ストロング

ふさわしい人がいて、ふさわしい場所があるなら、それがふさわしいときなのです。

こんげつごう なか
今月号の中に
かく
隠れている
リアホナを
さが
探しましょう。
ヒント——
ふねを
ゆらさないで。



48

42 そこが知りたい

44 わたしたちは

死ぬとどうなるのでしょうか

霊界や復活について質問がありますか。幾つかの答えをご紹介します。

48 仮面をかぶらない

クエンティン・L・クック長老

義にかなった人々は、真の姿を隠す仮面をかぶる必要がないのです。

51 兄はわたしを信じてくれました

デビッド・ディクソン

ダンがわたしとわたしの歌を物笑いの種にしていたら、間違いなくわたしは歌を歌わなくなっていたことでしょう。

52 『若人の強さのために』——

わたしには家族についての証があります

アン・M・ディブ

54 隠れた危険

ジョシュア・J・パーキー

戒めはわたしたちの選択の自由を制限するものではありません——幸福と成功に通じる最善の機会を提供してくれるのです。

57 伝道地から——証に感動して

マイケル・ハーケン



70

58 れきしを たどる旅——

モルモン書が

しゅっぱんされた ところ

ジャン・ピンボロー

60 リックの新しい本

ローラ・バヤード

聖典を持つとすると手が痛くなるバード姉妹を助けるために、リックには何ができたでしょうか。

62 メガンの子羊

ジュリーナ・K・ミルズ

メガンは子羊の世話をし、友情を深めるために、創造力に富んだ方法を見つけ出します。

64 特別な証人——

イエス・キリストは

わたしたちにとって

なぜそれほど大切なのでしょう

ダリン・H・オークス長老

65 主は生きておられるから

マリビク・バシゲー、

マリッサ・ウィディンソン

ワトイには、学校で先生にイエス・キリストについての証を伝える機会がありました。

66 初等協会を かていでも——

イエス・キリストは

わたしたちの すくいぬしです

68 ふっかつさいの 絵を

かんせい させましょう

ふっかつさいの日までに ジグソーパズルの絵を かんせいさせましょう。

70 ちいさな おともだちへ

81 よげんしゃの ポートレート——

ジョン・テラー

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ディーター・F・ウーグトルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・バッカー, L・トム・ベリ, ラッセル・M・ネ
ルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・パレード, リチャード・G・
スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, デビッド・A・
ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファソン, ニール・L・アンダーセン

編集長: クレグ・A・カードン

顧問: シェーン・M・ポーエン, ブラッドリー・D・フォスター, クリストフェ
ル・ゴールデン・ジュニア, アンソニー・D・パーキンス

実務運営ディレクター: デビッド・T・ワナー

家族・会員支援ディレクター: ピンセント・A・ボーン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャン

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ライアン・カー, ラリーン・ポーター・ガート

出版補佐: ミリッサ・ゼンデノ

執筆・編集: スーザン・バレット, デビッド・ディクソン, デビッド・A・エド
ワース, マシュー・D・フリットン, ミンディ・ライ・フリードマン, キャ
リー・H・ガーフ, ヒカリ・ロフタス, マイケル・R・モリス, リチャード・
M・ロムニー, ポール・バンデンバーク, ジュリア・ウッドベリ
編集インターン: ローレン・バンガター・ワイルド

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース, フェイ・P・アンドラス, C・キン
ボール, ポット, トーマス・チャイルド, ケリー・リン・C・ヘリン, コリン
・ヒンクレー, エリック・P・ジョンソン, スコット・M・ムーイ, ブラッ
ド・テアー

版権および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹: シェーン・アン・ピーターズ

制作: コニー・パウソフ・ブリッジ ハワード・G・ブラウン, ジュリー・
ハーデット, ブライアン・W・ギュギ, キャスリーン・ハワード, デニス・
カービー, キニー・J・ニルソン, タイ・ビルチャー, ゲール・テート・ラ
ファティ
製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: エバン・ラーセン

日本語版翻訳課長: デレック・リン・ウェスマン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替
(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-
41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵
送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ
……〒133-0057 東京都江戸川区西小葛5-8-6/末日聖徒イエス・
キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 830円(送料共)
普通号/大号 80円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ iahona.lds.org からお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA
電子メール: iahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の
意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語,
セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマー
ク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フラン
ス語, ドイツ語, キリジャ語, ハンガリー語, アイスマンド語, インドネシ
ア語, イタリヤ語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語,
マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語,
ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン
語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライ
ナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2013 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時
的に、また非営利目的に使用することは複写することができます。視覚資
料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できな
いことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property
Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に
郵送するか、電子メール — cor-intellectualproperty@ldschurch.org
にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

March 2013 Vol. 37 No. 3. LIAHONA (USPS 311-480) English
(ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of
Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00
per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals
Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required
for change of address. Include address label from a recent
issue; old and new address must be included. Send USA
and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center
at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971.
Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may
be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication
Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution
Center, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT
84126-0368.

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。
以下に幾つか例を挙げます。



フोटオイラスト | ユーティベル © 田

「神の言葉の力」22 ページ——この
記事の中にある、「御言葉の神聖さ」を家
族と一緒に読むことを検討し、聖文がどの
ようにわたしたちの鉄の棒になるのかに
ついて話し合ってください。聖文の力を感
じたときの経験を分かち合うように家族
に勧めてください。幼い子供がいる家庭
では、聖文からの霊的なお話を分かち合っ
てください。聖文を毎日研究するようにと
いうテラ長老のチャレンジを分かち合うこ
とについて、考えてみてください。

「わたしたちは死ぬとどうなるのでしょ
うか」44 ページ——記事に掲載されてい
る質問と、死がわたしたちの存在の終わり
ではないことを知っていることでもたらされ
る祝福について話し合うことを、検討して

みてください。この知識があることで、
個人の決断がどのように大切になってくる
のか尋ねてみるのもよいでしょう。終わり
には、救いの計画について証を述べてくだ
さい。

「メガンの子羊」62 ページ——メガン
と子羊の話を読んで、どうしてメガンは
最後にともうれしくなったのかについて
話し合ってください。モーサヤ書第2章
17-18節を読んで、奉仕から得られる
祝福について話し合うのもよいでしょう。
家族同士で、そして家族以外の人に奉仕
することについて話し合うことを検討して
みてください。「よく聞いて」(『子供の歌
集』71) のような奉仕の歌を閉会の歌に
することもできます。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

証, 65

贖い, 16, 30

イエス・キリスト, 16, 64, 65,
66, 68, 70, 73

教え, 33

家族, 9, 10, 33, 34, 38, 51,
52

活発化, 7, 80

結婚, 38

高潔, 48

子育て, 10

才能, 51

死, 44

従順, 16, 36, 54

祝福, 26, 35

自立, 20

自分の一, 26, 35, 37

親切, 60

聖文研究, 22

選択の自由, 16

総大会, 8

立ち直る, 10

テラー, ジョン, 81

伝道活動, 34, 57

復活祭, 30, 68, 70, 73

平和, 4

メディア, 48

モルモン書, 22, 58

復活, 30, 44

奉仕, 36, 62

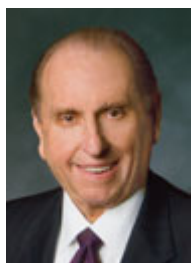
ボルノグラフィー, 48

霊界, 44

靈感, 36

友情, 62

喜び, 8



トーマス・S・
モンソン大管長

静まれ、 黙れ

数年前のある日、執務室で仕事を片付け終えたときのことです。ソルトレーク・シティーの高齢者施設で暮らす、夫を亡くしたある老婦人を訪ねるべきだと強く感じました。わたしはすぐに車で向かいました。部屋に行くと、だれもいませんでした。介護職員に彼女の居場所を尋ねると、ラウンジへ案内されました。ラウンジで、この優しい女性は彼女の妹と、もう一人の友人と語らっていました。わたしたちは楽しく会話しました。

話をしていると、ある男性が自動販売機でソーダ水を買いに部屋に入って来ました。男性はわたしをちらっと見て、言いました。「トム・モンソンじゃないですか。」

「そうですよ」とわたしは答えました。「あなたはヘミングウェイ家の人ですね。」

その男性は、自分はアルフレッド・ユージーン・ヘミングウェイの息子、スティーブン・ヘミングウェイだと言いました。アルフレッド・ユージーンは、何年も前にわたしがビショップだったときに顧問を務めてくれた人で、わたしはジーンと呼んでいました。スティーブンは、父親も同じ施設に入っており、もう先が長くないことを話してくれました。ジーンはずっとわたしの名前を呼んでいて、家族の人たちはわたしと連絡を取りたかったのですが、電話番号を見つけることができずにいたのです。

わたしはすぐに断ってその場を離れ、スティーブンと一緒にわたしの以前の顧問の部屋に行きました。部屋にはほかの子供たちも集まっていました。奥さんはすでに数年前に亡くなっていました。家族の人たちは、わたしがラウンジでスティーブンと会ったのは、自分たちの切なる願いに天の御父がこたえてくださったからだと思いました。父親が亡くなる前に、わたしが来て父親の呼びかけにこたえることを、彼らは切に願っていたのです。わたしも同感でした。もしわたしが訪れていたあの部屋に、スティーブンはまさにあのときに入って来なければ、わたしはジーンがその施設にいることすら知ることがなかったでしょう。

わたしたちはジーンに祝福を授けました。平安が広がりました。素晴らしい時間を過ごした後、わたしはその部屋を後にしました。

翌朝、電話があり、ジーン・ヘミングウェイが他界したことを知りました。ジーンの息子さんとわたしが祝福を授けたわずか20分後のことでした。

介護施設を訪れるように促し、愛する友人のアルフレッド・ユージーン・ヘミングウェイのもとに導いてくださった天の御父に、わたしは静かに感謝の祈りをささげました。

あの晩、わたしたちが御霊みたまのもたらす幸福感に浸り、へりくだって祈りをささげ、神権の祝福



を授けたとき、ジーン・ヘミングウェイの思いには、賛美歌「主よ、嵐^{あらし}すさび」の中で述べられている言葉がこだましていたのではないかと思います。

主よ、われのもとを
離れたもうな
幸^{さち}あるかの岸にて
われは休^{やす}らわん

わたしは今もこの賛美歌を愛しています。そして、この曲が与えてくれる慰^{あかし}めについて証^{あかし}します。

荒海や悪魔の
怒りはいかにあるとも
この船は沈め得ず
天地の主がいますを
海は「鎮^{しず}まれ」との
仰^{おほ}せを守れ¹

涙や試練、恐れや悲しみ、愛する人を失った心痛や孤独の中にあっても、命は永遠であるという確信があります。主なる救い主はその生ける証人です。² 聖文に記されている主の次の言葉があれば十分です。「静まって、わたしこそ神であることを知れ。」(詩篇 46:10) この真理について証します。■

注

1. 「主よ、嵐すさび」『賛美歌』59 番
2. リチャード・L・エバンズ, “So Let Us Live to Live Forever,” *New Era*, 1971 年 7 月号, 18 参照

このメッセージから教える

このメッセージは愛する人を亡くした人々や試練に苦しんでいる人々に慰めを与えてくれます。モンソン大管長のメッセージに加えて、あなたが教える人たちの必要に基づいて、次の聖句の中からどれか一つを分かち合うとよいでしょう。ヨブ 19:25 - 26; 1 コリント 15:19 - 22; モーサヤ 24:13 - 15; 教義と聖約 122:7 - 9。促しを受けたときには、あなたが試練の中で救い主から授かった平安について証するとよいでしょう。

どうかわたしの心を癒してください

ケルシー・ルドゥー

兄の命日に、兄が亡くなってからの日々を振り返りました。そして心に感じた激しい痛みだけでなく、神が与えてくださった祝福も思い出しました。

愛する人の死は祝福をもたらしてくれることがあるという人がいますが、どうしてそんなことが言えるのか、わたしにはまったく理解できませんでした。こんなに深い痛みをもたらすものにどうすれば喜びと感謝の気持ちを抱くことができるのか分かりませんでした。でも、ある夜の経験



を通して、わたしの見方は完全に変わりました。

真夜中に目を覚ましたわたしは、それまで感じたことがないほどの深い悲しみを覚えました。苦しくて息が詰まりそうでした。ひざまずき、むせび泣きながら天の御父に祈りました。幼いころから贖罪とイエスキリストの奇跡的な癒しの力についてずっと教わってきましたが、今まさに信仰の試しを迎えていました。ほんとうに信じているのでしょうか。「どうかわたしの心を癒してください」と、わたしは天の御父にお

願いました。独りで対処するにはあまりにもつらい苦痛だったのです。

すると、全身が平安と慰めと愛の気持ちに満たされました。まるで神が両腕でわたしを包み込み、それまで感じていた激しい苦痛から守ってくださっているかのように感じました。兄を失った寂しさは依然としてありましたが、違う視点から見ることができました。この経験から学ぶべきことがほんとうにたくさんありました。

主の愛と平安を受けられることを知っています。わたしたちはそれにあずかりさえすればよいのです。

ケルシー・ルドゥー姉妹は、アメリカ合衆国ミネソタ州に住んでいます。

しずかに する

モンソン大管長は、わたしたちが けいけんな たいどで しずかに していると、おだやかな 気持ちになり、天のお父さまに たいする あかしを つよめることができる と言っています。また せいいの うながしを うけて、どのような ほうほうで ひととを たすけることができるかが よく わかるようになります。下の 絵の中で しずかに しているのは どの子でしょうか。



あなたが しずかに できる ほうほうを 一つ 書き出すか、そのことについて お父さんやお母さんと 話し合ってください。それを 今週 じっさいに 行ってみましょう。そして そのときに かんじた 気持ちや せいいの うながしについて 日記に 書いてみましょう。

祈りをもってこの資料を学び、必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、あなた自身の生活の中で
扶助協会を生かすようにしてください。詳しくは reliefsociety.lds.org [英語] をご覧ください。



信仰・家族・扶助

活発化

わ たしたちの預言者トーマス・S・モンソン大管長は、わたしたちに次のように勧めています。「助けを必要としている人々を救い出し、いっそう義にかなった、より良い道を歩めるよう手を差し伸べましょう。……この業は……主の業なのです。そして……主の用向きを受けているときには、主の助けを頂く権利があるのです。」¹

何年も前、ラベーン・コール姉妹と家庭訪問の同僚が、あまり教会に来ていない一人の姉妹を訪問しました。戸をたたいた二人が見たのは、バスローブ姿の若い母親でした。体調が悪いように見えたが、二人はすぐに、その母親の抱えている問題が飲酒であることに気づきました。訪問教師たちは悩みを抱えて苦しんでいる若い母親とじっくりと話をしました。

家を後にした二人は次のように言いました。「彼女は神の子供です。わたしたちには彼女を助ける責任があります。」そこで二人は頻りに訪問しました。その度に、良い方向に変わっているのを目にし、感じるようになりました。扶助協会に出席するように誘うと、彼女は気が進まないようでしたが、やがて毎回出席するようになりました。励ましを受けて、



その姉妹と、夫と娘も教会に出席しました。夫は聖霊を感じて、次のように言いました。「ビショップが勧めてくれることを行うつもりです。」今、彼らは教会に活発に集っており、神殿で結び固めを受けました。²

聖文から

3 ニーフアイ 18 : 32 ; 教義と聖約 84 : 106 ; 138 : 56

注

1. トーマス・S・モンソン「神聖な奉仕の召し」『リアホナ』2005年5月号、54、56
2. ラベーン・コールの娘が中央扶助協会会長にあてて書いた手紙
3. プリガム・ヤング、「わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業」(2011年) 107で引用
4. エライザ・R・スノー、「わたしの王国の娘」83で引用

わたしたちの歴史から

道に迷っている人がイエス・キリストの福音のもとに戻れるように助けることは、常に末日聖徒の、そして扶助協会の会員の大切な務めとなってきました。プリガム・ヤング大管長(1801-1877年)は次のように述べています。「互いに思いやりを示し合いましょ。……見ることのできる人々は、目の見えない人々を、彼ら自身で道を見られるようになるまで道案内をしましょう。」³

第2代中央扶助協会会長のエライザ・R・スノーは、アメリカ合衆国ユタ州オグデンの姉妹たちが互いに強め合うために払っている努力を認めて感謝し、次のように言いました。「決して記録されることのない多くのものが〔奉仕という形で〕寄付されていることをわたしはよく知っています。」その一方で、熱意が冷めた人に手を差し伸べる扶助協会の姉妹たちの行いは天で記録されていることを認め、次のように言っています。「ジョセフ・スミス大管長は扶助協会が組織されたのは人を救うためであると述べました。……皆さんの信仰と親切、善い行いや言葉は別の書物の一つ残らず記録されています。……忘れ去られているものは一つもありません。」⁴

何ができるでしょうか?

1.あまり教会に来ていない姉妹に、一緒に扶助協会の集会に出席するよう自信をもって誘えるでしょうか。

2.担当している姉妹たちは、福音について気軽に質問してくるでしょうか。

10月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ[る。]……

わたし自身の声によろうと、わたしの僕^{しもべ}たちの声によろうと、それは同じである。」(教義と聖約1:38)

2012年10月の総大会を復習する際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、生ける預言者と使徒、ほかの教会指導者の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。

大会で話された物語

今を楽しみましょう

妻のハリエットとわたしは、自転車に乗るのが大好きです。外に出て自然の美しさを楽しむのは、すばらしいことです。お気に入りのコースが幾つかありますが、どのくらい遠くまで行くか、人と比べてどのくらい速く走れるかは、あまり気にしません。

しかし、時折わたしは、もう少し競争してもいいのではないかと考えます。もう少し頑張ったら、もう少し努力したら、もっといい記録を出し、もっとスピードを出せるのではないかとさえ考えるのです。時々、すばらしい妻にこの思いを伝えるという大きな過ちを犯すことさえあります。

こういった提案に対して彼女はたいてい、とても優しく、とてもはっきりと、とても率直に答えてくれ、ほほえみながらこう言います。「ディーター、これは競争じゃないの。旅なのよ。今を楽しまなきゃ。」

彼女の言うとおりです。

人生の中で、到達地点にばかり目を向けて、旅の間に喜びを感じられずにいることがあります。妻とサイクリング

に行くのは、それを終わることが楽しみだからではありません。彼女とともにいることが心地よく、楽しいから行くのです。

常に終わったときのことを予測するあまり、心地よく楽しい経験を台なしにしてしまうのは愚かだとは思いませんか。

美しい音楽を聞くとき、それを心から楽しむ前に最後の音が消えていくのを待ちますか。いいえ。曲の中で奏でられる様々なメロディーやリズム、そしてハーモニーに耳を傾け、音楽に浸ります。

祈るとき、「アーメン」や最後の言葉だけを考えて祈るでしょうか。もちろん違います。わたしたちが祈るのは、天の御父と近くあるためであり、主の御^{みなま}霊を受け、主の愛を感じるためです。

将来の、ある時期まで幸せになるのを待ち、そのときになって初めて、幸福はもっと前に、すでに得られたのだと分かるというようなことがあってはなりません。いつも幸せでいるべきです。人生は過去を振り返って評価するだけのものではないのです。詩篇の作者は

書いています。「これは主が設けられた日であって、われらはこの日に喜び楽しむであろう。」[詩篇 118:24]

大管長会第二顧問 ディーター・F・ワークトドルフ
管長「後悔と決意について」『リアホナ』2012年11月号、23-24

考えるための質問

- どうすれば人生の旅に喜びを見いだすことができるでしょうか。
- どうすれば周りの人たちの生活に喜びをもたらすことができるでしょうか。
- 感謝と喜びにはどのような関係があるでしょうか。

あなたの考えを日記に書くか、ほかの人と話し合ってみてください。

このテーマに関するその他の資料——「真理を守る」[イエス・キリストの贖い]の項、14-21; LDS.orgの「福音のテーマ」の「感謝」「悔い改め」「幸福」の項; リチャード・G・スコット「人生に喜びを見いだす」『聖徒の道』1996年7月号、29-32

総大会説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、conference.lds.org にアクセスしてください。

共通のテーマ——結婚と家族



総大会では、ある非常に重要なテーマについて複数の話者が語る事がよくあります。ここでは4人の話者が結婚と家族について語ったことを採り上げます。大会の話の研究する際に、ほかにも共通するテーマを探すようにしてください。

- 「男女が法律にかなって結婚して一体となることにより、地を受け継ぐ将来の世代だけではなく、この世で経験し得る最大の喜びと満足感がもたらされます。」¹ 十二使徒定員会 L・トム・ベリー長老
- 「子供たちは、結婚においても目標においても一つになっている父親と母親の双方から育てられることから生まれる、精神的かつ個人的な強さを必要としています。」² 十二使徒定員会 ダリン・H・オークス長老

- 「親切と思いやりの基礎は家庭で築かれます。家庭の崩壊とともに社会全体の意思疎通がうまくいかなくなってきたことは、驚くには当たりません。」³ 十二使徒定員会 クエンティン・L・クック長老
- 「社会では結婚の大切さと目的がますます軽視されていますが、わたしたちには結婚を堅固なものにするために、なすべきことがたくさんあります。」⁴ 十二使徒定員会 D・トッド・クリストファーソン長老

注

1. L・トム・ベリー「善い親になる」『リアホナ』2012年11月号, 27
2. ダリン・H・オークス「子供たちを守る」『リアホナ』2012年11月号, 45
3. クエンティン・L・クック「今でもそのように感じられるか」『リアホナ』2012年11月号, 7
4. D・トッド・クリストファーソン「兄弟たちのなすべき務め」『リアホナ』2012年11月号, 49

クリスチャンであるとは、 どういう意味でしょうか

1. 「クリスチャンは、主イエス・キリストを信じる信仰を持っています。」
2. 「クリスチャンは、神……の恵みにより、わたしたちは悔い改め、ほかの人を赦し、戒めを守り、永遠の命を受け継ぐことができると信じています。」
3. 「クリスチャンという言葉には、キリストの御名を引き受けるという意味があります。……バプテスマを受け、^{あかし}按手によって聖霊の賜物を受け、御名を引き受けるのです。」
4. 「クリスチャンは、……神の預言者が常にイエス・キリストについて証してきたことを知っています。」

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老
「クリスチャンとして、
キリストのような特質を高める」
『リアホナ』2012年11月号, 90

預言者の約束

「救い主はわたしたちの目から後悔の涙をぬぐい取ること、そしてわたしたちの罪の重荷を取り除くことができになるのです。主の贖いにより、わたしたちは過去に区切りをつけ、清い手と清い心を持ち、もっと良く行おう、そして特に、もっと良くなるとういう決意を胸に前進することができるのです。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・ウークトルフ管長
「後悔と決意について」『リアホナ』2012年11月号, 24

立ち直りの早い子供 に育てる



子供が挫折ざせつにどれくらい
うまく対処できるかは、
立ち直る姿勢と能力を
その子が培えるように
親がどれくらい助けたかによって
大きく変わってきます。

LDS ファミリーサービス
ライル・J・バラップ

人生は試練に満ちています。主は「苦しみの炉をもって」わたしたちを試みたと言っておられ（イザヤ48：10）、わたしたちは「アブラハムのように、試みられ」（教義と聖約101：4）、逆境は「〔わたしたち〕に経験を与え、〔わたしたち〕の益となるであろう」（教義と聖約122：7）と言っておられます。このような言葉を聞くとおじけづいてしまいそうです。試練の中であって幸せと安らぎを感じることはできるのでしょうか。聖文はわたしたちに、それは可能であると教えています（2コリント12：10；ヘブル5：7－8；教義と聖約127：2参照）。

ユタ州プロボの宣教師訓練センター（MTC）で宣教師のカウンセリングをしながら、わたしは情緒的な問題を引き起こす最も一般的な原因が立ち直る力の欠如であることに気づきました。それまで情緒的な問題を抱えたことのなかった聡明で有能な宣教師がもがき苦しみ、神権指導者やほかの人たちが不思議に思うことがよくありました。しかし多くの場合、宣教師は困難にうまく対処する方法を学んでいなかっただけだったのです。親は立ち直る力を培うための原則を教えることによって、子供がそうした問題を避けられるように助けることができます。

立ち直る姿勢

立ち直る力を意味する英語の *resilience* という語はもともと、曲げられたり、伸ばされたり、圧縮されたりした物質が元の形状に戻る力に関する言葉でした。



今日では、人の逆境から立ち直る能力について述べる際に広く用いられます。

逆境とそこから立ち直る力について、わたしたちは二つのことを知っています。第1に、「すべての事物には反対のもの」があるということです（2ニーファイ2：11）。第2に、大きな価値のあるものを得るためには、しばしば大きな犠牲が求められるということです。

子供は立ち直る力を身に付けるとき、これら二つの事実を理解し、受け入れるようになります。人生は困難で絶えず移り変わっていくものだと悟り、それでもそうした困難や変化に対処できると思うようになります。過ちや弱さを、学ぶ機会であるにとらえ、成功に先立って失敗を経験するかもしれないことを受け入れます。

子供は立ち直る力を伸ばすにつれて、人生では努力と機転と知識と技能によって結果に影響を及ぼすことができ、結果をコントロールできると信じるようになります。このような姿勢で、自分ではどうにもならないことよりも自分にできることに目を向けるようになります。

立ち直る力のもう一つの表れは、人生や人々の存在に大きな



目的と意味を認めることです。目的意識を持っていると、子供は挫折やプレッシャーを経験してもあきらめずにいることができます。もしわたしたちの子供たちが立ち直る力を増しているとするれば、彼らは慈愛や徳、高潔、正直、労働意欲、神を信じる信仰といった、彼らを導く深遠な価値観を身に付けることでしょう。周りで起こっていることに積極的にかかわり、疎外感を覚え苦しみを避けるのではなく、価値観

子供のころ学んだ、 打たれ強くなるための教え

子 供のころ、親や隣人、教師、教会の指導者は、わたしやきょうだいに以下のことを教えてくれました。この5つの原則は、皆さんの子供たちにも役立つと思います。

1. 特権を得るために代価を払う

わたしは、これからも友達と遊ぶ自由が得られるかどうかは、時間どおりに家に帰るかどうかにかかっていることを知っていました。

2. 刈り入れの法則

お金が欲しければ新聞配達をして毎月集金をしなければならないことをわたしは知っていました。

3. 自分の義務と責任

わたしは宿題を片付け、科学の催しの準備をし、スカウトの技能賞を獲得しなければなりませんでした。

4. 償いの法則

わたしは悪いことをしたら謝り、自分がしたことの埋め合わせをして償うことができました。両親は時々わたしに、普段の手伝いのほかに草取りなどの作業をするよう言いつけました。

5. 過ちから学ぶ

わたしはベッドをきれいに整えなかったり食器をきれいに洗わなかったり、草取りをきちんとしなかったりすると、もう一度きちんとやり直さなければなりませんでした。

ライル・J・バラップ

に基づいて全力を尽くすことを選ぶでしょう。

福音はこうした価値観や受け止め方を教え、強調しています。

完全主義は立ち直る力を弱める

立ち直る力を培うのを妨げるものの一つに、完全になるようにという戒めに対する誤解があります(マタイ5:48参照)。この誤解は、わたしがこれまで新しい宣教師たちの間に見てきた、立ち直る力を弱める最も一般的な要因です。彼らは天の御父とイエス・キリストを愛するがゆえに、すべてのことにおいて完全でありたい、御二方を失望させたくないと思っています。しかし、主が弱く純朴な僕を通して働かれることを理解していません(教義と聖約1:19-23参照)。また、完全になるように努めるとは決して過ちを犯さないと意味ではなく、わたしたちは主に従おうと努めながら、キリストの贖罪しよくざいによって十分に成長する、つまり完全な者になるということを理解していません(マタイ5:48、脚注b〔英語〕参照)。

この誤解は、社会が青少年に教えていることも一因となっているかもしれません。すなわち、彼らの価値は才能と達成した事柄によって決まるということです。学校や地域社会において、時には教会や家庭においてさえも、青少年は同年代の仲間が何らかの才能のゆえに受け入れられ、称賛され、認められ、褒められるのを目にします。ですから自分も一定の標準に達しようとし、そうするとき失敗や間違いを恐れるようになります。何を行うかを、どのくらいうまくできると思うかで選びます。自信がないときには先に延ばします。間違いをしたら周りの人にどう思われるかを心配します。認めてもらえなくなるのを恐れます。自分の達成した事柄を自分の価値を測る尺度と見なします。完全主義という親方に厳しく監督されて、立ち直る力が次第に弱まってしまいます。

例えば、MTCの宣教師たちは訓練として何を行うか、あるいは何を行わないかを自分で選べないので、どのように新しい言語を話し、福音の概念を教え、宣教師のほかの務めを遂行するかを学びながら間違いをします。見知らぬ人の前でこうした間違いをして、もし立ち直る意識が身に付いていなければ、動揺し、困惑してしまうのです。

子供が立ち直る力を培うのを助ける

では、子供が立ち直る力を培うのを助けるにはどうすればよいのでしょうか。天の御父はその手本を示してくださっています。御父は、たとえわたしたちが間違いをしたときでも、深い愛と敬意をもってわたしたちに接して下さいます。わたしたちが御父の息子や娘であるがゆえに持っている可能性（モーセ1:39 参照）と大きな価値（教義と聖約18:10 参照）を思い起こさせて下さいます。御自分が求めておられることを知らせるためにわたしたちに律法を与え（教義と聖約107:84 参照）、わたしたちが選択するのを許し（2ニーファイ2:15 - 16 参照）、わたしたちの選択を尊重して下さいます（教義と聖約130:20 参照）。間違いを正すために学び、教えを受けられるようにし（教義と聖約1:25 - 26 参照）、罪を正すために悔い改め、償えるようにして下さいます（教義と聖約1:27 - 28 参照）。

これらの原則を家庭でどのように実践できるかについて、幾つか提案しましょう。

- 子供の長所を知るため、また弱点についてどのように助ければよいかを知るために祈る。
- 忍耐強くあって、子供が立ち直る力を培うには時間が必要であることを理解する。
- 間違いや失敗は学ぶ機会であることを理解するように努める。
- 当然の必然的な結果を経験させることによって子供を訓練する。

子供は立ち直る力を伸ばすにつれて、人生では努力と機転と知識と技能によって結果に影響を及ぼすことができると信じるようになります。

自分ではどうにもならないことよりも自分にできることに目を向けるようになります。

- たとえ愚かな選択によって特権が失われることになっても、子供の決断を尊重する。
- ルールを破ったことについて子供を叱りつけるのを控える。
- 厳しく非難することで努力する意欲をそがないようにする。
- 達成したことを褒めるよりも、努力を促し、褒める。
- 「子供の間違いを指摘するよりも褒めることに重点を置くようにして下さい。どんな小さなことでも褒めてください。」（エズラ・タフト・ベンソン大管長〔1899 - 1994 年〕「栄えある女性の務め」『聖徒の道』1982 年 4 月号, 182 参照）

立ち直りの早い子供に育てるという難しい務めに祈りをもって取り組むとき、主はわたしたちを祝福し、子供が人生の困難に対処する情緒的および霊的な強さを得るのを助けるために必要な導きと靈感を与えてくださるでしょう。■



状況に対処する能力を持つ、 立ち直りの早い子供に育てるための提案

子育てにはそれぞれの子供に合った取り組み方が求められますが、
ほぼ普遍的な原則がいくつかあるようです。
以下は効果的であることが実証されている原則です。



こうする代わりに……

ルールや結果を思いつきで、
または独断的に決める。

子供が自分の選択の結果から逃れるのを許す。

おもに間違いを正す。

従順を求めるときに
独断的で一貫性がない。

結果だけを褒める。

子供に
彼らの価値は結果によって決まる
ということを伝える。

失敗や成功を
運や才能と結びつけて話す。

答えをすべて与えることによって
子供の問題を解決しようとする。

子供自身や子供の努力、
達成したことを批判することによって、
子供に自分は愚か者だと感じさせる。

こうしましょう……

そうすればこうなるでしょう……

ルールについて話し合い、道理にかなった結果を決める。
結果は妥当で、その行為に関連していて、
親子の双方を尊重したものにします。

子供は何が起こるかを知り、
選択には結果が伴うことを学ぶ。

子供に自分の選択がもたらす
当然で必然的な結果を
経験させる。

子供は自分の選択に対して
責任と報告義務を負わなければならないことを学ぶ。

おもに褒める。
正しい方向への小さな一歩を
たたえる。

子供は親の望みを知る。
励ましとやりがいを感じ、
自分は認められていると感じる。

促したい行動や振る舞いに対して、
望ましい報いを常に与える。

子供は難しいことに関して、
行いたいと思う必要はないが、
とにかく行わなければならない
ということを知る。

結果にかかわらず努力を褒める。

子供は励まされ、自信を持ち、
挑戦しようという気持ちを強める。

子供に
自分は神の息子や娘であり、
神となる可能性を秘めているので、
生まれながらに価値のある存在であることを話す。

個人の価値は一時的な成功や失敗ではなく、
その子供が持つ永遠の可能性の一部になる。

失敗は一時的なものであり、
学ぶ機会であると説明する。
成功は懸命な努力と犠牲がもたらす結果である
と説明する。

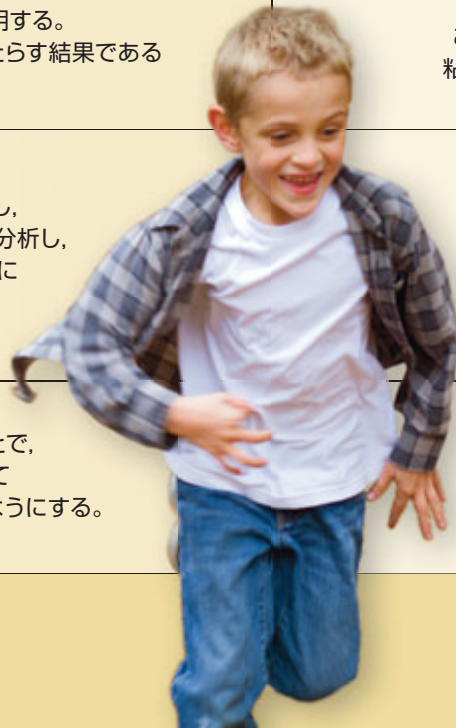
子供は失敗を恐れず、
あるいは失敗してもあまり落胆せず、
粘り強く続けようという思いを強める。

子供が
(1) 何が起こったのかを明確にし、
(2) そのような結果を招いた原因を分析し、
(3) 次回この問題を避けるために
自分にできることを
見いだせるように助ける。

子供は
自分には問題を解決する能力がある
と認識するようになる。
自分の問題に取り組んで解決し、
自分は人生をコントロールしていて、
困難を乗り越えられる
ということを理解する。

耳を傾け、支え、励ますことで、
子供がまた助けを求めて
あなたのもとに行きたいと思うようにする。

子供は自分の間違いや問題について
もっと安心してあなたと話せる。





十二使徒定員会
D・トッド・
クリストファーソン長老

君は自由だ

神が求めておられるのは、キリストが示された献身である。

「福音とは、欲望と行動を制御する、自由の計画である」とゴードン・B・ヒンクレイ大管長（1910 - 2008 年）は言いました。¹ この計画により、知識が増し、能力が高まり、恵みと光が増し加わる道へとわたしたちは導かれます。なり得る自分、然るべき自分になる自由が与えられるのです。しかし、この完全な自由を得るためには自分の罪（アルマ 22：18 参照）やわがまま、抜け出せないでいる不健全な習慣をすべて喜んで捨てなければなりません。あなたに必要不可欠だと神が思われるものの妨げとなる場合には、善いことの中にすら、捨てなければならないものがあるかもしれないのです。

主の声

おばのアデナ・ネル・ゲーリーが、今は亡き父親、つまりわたしの祖父であるヘルジ・V・スウェンソンとの遠い日の思い出を話してくれました。わたしの意図することをうまく伝えています。

「娘とわたしは、実家に遊びに行っていました。日が暮れるころ、母はわたしに言いました。夜になる前に父が〔5匹の〕羊を小屋に入れるから、裏口から出てそれを見たらどうかと。父は……

ステーキの祝福師で、……神の人が持つ善と優しさと真理そのものでした。

……父は牧場の端の方に歩いて行くと、『おいで』と呼びました。すると、食べ物をおいばいにほおぼろうと伸ばした首を引っ込めることすらせず、5匹とも直ちに父の方を向き、走り出したのです。そして、父のところに来て来て体をすり寄せ、1匹ずつ頭をなでてもらっていました。

幼い娘が言いました。『ねえ、おばあちゃん、おじいちゃんはどうやって羊たちを教えたの。』

母はこう答えました。『羊はおじいちゃんの声を知っているの。そして、おじいちゃんのこと大好きなのよ。』 実を言うと、牧場にいた羊は5匹で、父が呼ぶと5匹とも顔を上げたのですが、父の方に走って来たのは4匹だけだったのです。いちばん遠い所、牧場の端には、大きな〔雌羊〕が父の顔をじっと見詰めて立っていました。父はこの雌羊に『おいで』と呼びかけました。雌羊は走り出すような仕草はするものの、やって来ませんでした。すると父は牧場を横切って歩き始め、こう呼びかけたのです。『おいで。君はもうつながれていないんだ。』ほかの4匹も父の後をついて行きました。



ここで母は、その2、3週間前に知人がやって来て、もう要らないからと、その雌羊を置いて行ったのだと説明してくれました。その雌羊は粗暴で言うことを聞かず、ほかの羊を連れて行って柵の外に出すなど、悪いことばかりするので処分したいというのが知人の言い分でした。父は喜んでその羊を受け取り、逃げ出さないように、2、3日の間牧場の杭につないでおきました。そして、父とほかの羊を好きになるように根気強く教えていったのです。そして、新しい家に対する不安も薄らいできたころ、首の回りの短いロープは残しましたが、父は雌羊を杭につなぎ止めるのをやめました。

母がこんな説明をしているうちに、父と羊たちは牧場の端にいるこの〔よそ者〕のところにとどり着きました。すると、父の呼びかける声が静かな牧場からまた聞こえたのです。『おいで。もうつながれていない。君は自由だ。』

〔その雌羊〕が突然歩き出して父のわき腹にすり寄るのを見て、わたしはこぼれる涙で目をしばしばさせました。そして、父はその雌羊の頭に優しく手を置くと、小さな群れ全体と一緒に向きを変えて、わたしたちの方に向かってまた歩き始めたのです。

皆神の子羊なのに、わたしたちの中には世の罪のためにつながれ、自由を奪われている人がいると思いました。わたしは、主のもとで働く真の羊飼いや教師がいることに、裏口に立ったまま心の中で天の御父に感謝しました。彼らは忍耐強く優しい人たちで、愛することと従順であるべきことを喜んでわたしたちに教え、わたしたちが群れの中で安心して自由に行動できるようにしてくれます。そのおかげで、家から遠く離れてしまうことがあっても、『おいで。君はもう自由だ』と主が呼ばれるときに、わたしたちはその声を聞き分けることができるのです。』²

完全に従うことによってさらに大きな

完全に
従うことによって
さらに大きな自由が
得られることを
知るのは、
とてもうれしい
ことです。

自由が得られることを知るのは、とてもうれしいことです。十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は、「わたしたちは盲目だから従うではありません。見えるからこそ従うのです」と言っています。³

この世の生活の中で何かを選ぶとは、権力に従うかどうかではありません。選ぶとは、どの権威に従うかということです。つまり、神に従うか、それともサタンに従うかです。リーハイが言ったように、自由を選ぶか、束縛を選ぶかなのです（2ニーファイ2:27参照）。自由を選らばなければ、必然的に束縛を選んでいることとなります。

神に従い、神の統治権にお任せして神に統治していただくことにすると、ほかにも祝福があります。中でも最も顕著なのは、平和に生活できるという信仰と確信です。主はヨシュアにこう言われました。

「あなたが生きながらえる日の間、あなたに当ることのできる者は、ひとりもないであろう。わたしは、モーセと共にいたように、あなたと共にいるであろう。わたしはあなたを見放すことも、見捨てることもしない。……

ただ強く、また雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法をことごとく守って行い、これを離れて右にも左にも曲ってはならない。それはすべてあなたが行くところで、勝利を得るためである。」（ヨシュア1:5, 7）

「わたしはすでに世に勝っている」

このように「律法をことごとく守って行」うならば、神はモーセとともにおられたように、わたしたちとも、ともにおられるという確信が生まれるでしょう。詩篇の作者のように「わたしは神に信頼するゆえ、恐れることはありません。人はわたしに何をなし得ましようか」と言えるようになるのです（詩篇56:11）。主は、「あなたがたは、この世ではなやみがある。

しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている」と約束しておられるではありませんか（ヨハネ 16：33）。

ずっと昔のことです。わたしは教会の宗紀評議会を管理していました。犯した罪を評議会にかけられている男性が、わたしたちの前に座って自分の過去を話しました。確かにその男性の罪は重大でしたが、彼自身もほかの人の大きな罪によって傷ついていたのです。その件を検討していたわたしは胸が痛みました。そこで、退席してこの件について独りで考え、祈ってから評議会に戻ることを願い出しました。

わたしは自分の執務室のいすの前に立って、なぜそんな邪悪なことが行われたのか理解できるよう助けてくださいと祈りました。すると、ふたの付いた大きな穴が見えました。いや、むしろ感じたと言った方がいいかもしれません。ふたの隅の方が一瞬ほんの少し開いて、この世に存在する底なしの果てしない悪が見えたのです。その悪の大きさは理解できないほどでした。わたしは圧倒され、後ろにあったいすに崩れ落ちました。息苦しくなり、心の中で叫びました。「どうやったらこんな邪悪に勝つ望みが持てるというのか。こんなに暗く重い力に打ち勝つ方法などあるのか。」

その瞬間、次の言葉がわたしの心に浮かびました。「勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」（ヨハネ 16：33） これほどの悪を実感した直後にこれほど対象的な平安を感じたことはめったにありません。救い主が激しい苦しみを受けてくださったことに対する感謝の気持ちが深まり、救い主が克服されなければならなかった罪の深さについて畏怖にも近い感謝の念を抱くようになりました。わたしたちの前で判決を待つ男性に対して、平安な気持ちを感じました。彼には贖い主^{あがな}がおられ、その恵みは彼を清め、味わってきた不当な苦しみを修復するのに十分であることが理解できたからです。イエス・キリストのおかげで善は勝利するものの、イエスがおられなければその可能性がないことがさらによく分かるようになりました。平安を感じました。とても心地よい平安でした。

預言者ジョセフ・スミスはこのことを知っていました。こう言っています。「わたしたちの力の限りすべてのことを喜んで行おう。そして願わくは、その後、わたしたちがこの上ない確信をもって待ち受けて、神の救いを目にし、また神の腕が現されるのを見ることができるよう。」（教義と聖約 123：17） 神に従う者への約束とは、神の腕、神の力が生活の中に

現れるということです。救い主は次のように言われました。

「幼い子供たちよ、恐れてはならない。あなたがたはわたしのものであり、わたしはすでに世に勝っており、そしてあなたがたは父がわたしに与えてくださった者に属しているからである。

父がわたしに与えてくださった者は、だれも失われない。」（教義と聖約 50：41 - 42）

この確信をもって生きることは、感謝し尽くせない祝福です。だれでも、逆境を目前にしたときや、何が何だか分からなくなったときに、遅かれ早かれ神の導きに従うことにすれば、賛美歌で「Sweet is the peace the gospel brings（福音からもたらされるもの、心地よい平安）」と歌われているとおりだと確信できるようになるでしょう。⁴

神を指導者として受け入れるとしても、いいかげんな気持ちで不承不承受け入れているかぎり、平安や自由や信仰などの賜物^{たまもの}を神から頂けると期待するべきではありません。義になかった行いが心からのものではなく形式的なものであるならば、報いを期待するべきではないのです。形ばかりの忠誠は、神にとっては忠誠でも何でもありません。完全に心の底から、無条件に従わなければならないのです。神がお求めになるのはイエスが示された献身的な行い^{さかすき}です。イエスは、偉大な創造主イエスですら当惑したほど苦い杯をお飲みになるよう求められました（マルコ 14：33 - 36；教義と聖約 19：17 - 18 参照）。しかし、イエスはそれを飲まれ、「御子の御心は御父の御心にのみ込まれ」たのです（モーサヤ 15：7）。

わたしは、神の御子イエス・キリストを通して、イエスが祈られたようにわたしたちが神と一つになれるという証^{あかし}を残します（ヨハネ 17：20 - 23 参照）。神とイエスに忠実に従うことが、永遠に皆さんの人生の輝かしい指針となりますように。■

1999年10月19日にブリガム・ヤング大学で行われたディポーショナルでの説教から。全文〔英語〕は、speeches.byu.edu をご覧ください。

注

1. ゴードン・B・ヒンクレー，“A Principle with Promise,” *Improvement Era*, 1965年6月号, 521
2. アデナ・ネル・スウェンソン・グーリー，“I Walked a Flowered Path”（未発表の原稿, 1995年）, 199 - 200
3. ボイド・K・バックナー「自由意志と規制」『聖徒の道』1983年7月号, 115 - 116
4. “Sweet Is the Peace the Gospel Brings,” *Hymns*, 14 番



自立の原則を実践する

教会機関誌 ラリー・ヒラー
福祉サービス キャサリン・H・オルソン

ボ リビアのラパスに住むルイス・キスペは、片方の目しか見えませんが、自立して家族を養うという目標をはっきりと見据えています。経済面でも健康面でも問題があるにもかかわらず、ルイスは自分の将来を楽観しています。天の御父に頼るべきことを認めながらも、困難を切り抜けるために自分でできることは何でも行います。「御父の助けがあれば不可能なことはないということを学びました」と言っているのです。

自立——霊にかかわる原則と現世にかかわる原則

6人の子供の父親であるこの46歳の男性は8年間、農学の学位を取るために働きながら通学しました。通学と言っても、アチャカチという小さな町から97キロも離れたサンアンドレス大学に通ったのです。こうした犠牲はあったものの、ルイスは無事大学を卒業し、今は自分の農場を持つという新しい目標を目指しています。

ルイスは仕事や福祉、食糧貯蔵といった現世のことにかかわる自立の立派な模範です。しかし、自立の原則は、現世にかかわる原則というよりは霊にかかわる原則なのです。十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は自立を「自分の霊的・物質的な福利に関する責任、さらに天の御父から託された人々に対する責任を果たす」と定義しています。¹



主は現世のことにのみかかわる律法を与えたことはないと言っておられます（教義と聖約 29：34 - 35 参照）。恐らく、働きなさいという戒めは、物資を支給すると同時に霊的な面で祝福するために与えられたのでしょう（創世 3：17 - 19 参照）。

霊的自立

現世のことにかかわる自立の祝福は、自然災害や失業、経済的な困窮など、危機的な状況に陥ったときにはっきりと感じられます。しかしそのような状況のときには、霊的な自立も同じくらい大切なのです。霊的な基盤がしっかりとしている人は、そのようなときに祝福されて平安と確信があり、強い信仰をもって天の御父に助けを祈り求めることができます。

教会の指導者は、霊的な危機に備えるよう勧告しています。十二使徒定員会会長であるボイド・K・パッカー会長は、次のように述べています。

「わたしたちは1年分の食糧、衣料品、また可能であれば燃料をも、家庭に貯蔵するように教えられています。……

その同じ原則を、靈感や啓示、問題の解決、助言や指導に当てはめられないでしょうか。……

もしも情緒面の自立と霊的な自立ができなくなれば、物質的に依存しているのと同じく、いやそれ以上に弱くなってしまふ可能性があります。」²

与え、受ける

自立とはだれにも頼らないことだと勘違いしてはいけません。結局わたしたちは、あらゆる点で天の御父に依存しています（モーサヤ 2：21 参照）。わたしたちには天の御父の導きと保護と守りが常に必要なのです。

わたしたちはまた、お互いに依存し合っています。人にはそれぞれ異なる霊的な賜物が与えられていますから、自分に与えられた賜物^{たまもの}を使ってすべての人が祝福を受けられるようにしなければなりません（教義と聖約 46：11 - 12 参照）。大切なのは、できることは自分で行い、人に奉仕できることは奉仕し、必要なときには助けてもらって、奉仕する祝福を人が味わえるようにすることです。

物心両面で自立すればするほど、善いことを行う能力が高くなります。ロバート・D・ヘイルズ長老はこう説明しています。「わたしたちの究極の目標は、救い主のようになることです。その目標は無私の気持ちで人に奉仕することによって強化されます。自立の度合いによって、奉仕する能力が増したり、弱まったりします。」³

個人の責任

ルイス・キスペは、粘り強い努力を重ね、主を信頼することによって仕事や大学の学位、家族の結末という現世の祝福を得ました。そして、こうした現世の祝福を得たことによって、今度は信仰が強くなりました。ルイスはスペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985 年）が与えた次の勧告に従っているのです。「肉体および情緒面で健康な末日聖徒は、自分と自分の家族の安寧に関して、その責任を他人に譲り渡すことはできません。主の導きを受け、力を尽くすならば、物心両面で自分と自分の家族を養うことができるはずです。」⁴ ■

注

1. ロバート・D・ヘイルズ「福音に基づく福祉のビジョン：行いで示す信仰」『福祉と自立に関する基本原則』1
2. ボイド・K・パッカー「主の方法によって情緒面の問題を解決する」『聖徒の道』1978年10月号、145
3. ロバート・D・ヘイルズ「福音に基づく福祉のビジョン」2
4. スペンサー・W・キンボール「福祉活動——福音の実践」『聖徒の道』1978年2月号、118 - 119

物心両面で
自立すればするほど、
善いことを行う能力が
高くなります。





七十人
マイケル・ジョン・U・
テー長老

神の言葉の力

日々のたゆまぬ聖文学習以上に
偉大な霊的祝福をもたらしてくれるものはほとんどありません。

ずっと昔ビショップを務めていたころ、二人の顧問とわたしは、全会員の家を1年に1回訪問することに決めました。そのような訪問をするのに、廃線になった線路伝いに歩いて行ったことがあります。線路の両わきには、段ボールで継ぎはぎした2メートル四方もない家が並んでいました。この狭い空間が、家族の居間となり、食堂となり、寝室となり、台所となっていたのです。

その地域に住む大人たちは生活のパターンを決めていて、毎日同じことをしています。男性たちはたいてい失業しているか、職に就いていても満足な収入は得ていないかのどちらかで、ほとんどの時間、急場しのぎのテーブルを囲んで集まり、たばこを吸ったり、ビールを回し飲みしたりします。女性たちも集まって、その日いちばん話題性のあるニュースをテーマに、悪口やうわさ話を交えておしゃべりします。かけ事も、老若を問わず好まれる娯楽です。

わたしがいちばん理解に苦しむのは、彼らが、生涯そのような生活を続けることに満足している

ように見えることでした。後にわたしは、彼らのほとんどは、望みが持てないことから、それが宿命だと信じざるを得なくなったのだと結論づけました。もちろんそれは、胸の痛む結論でした。

その後、わたしの顧問の一人で技術職の人がかつてそこで暮らしていたことを知りました。思いも寄らないことでした。なぜなら、彼の家族はそこで見た人たちとはまったく違う生活をしているからです。彼のきょうだいは皆教育を受けていて、堅実に子供を育てていました。

その顧問の父親は質素な人でした。彼に初めて会ったとき、疑問がわき上がりました。どうやってあの生活から這い上がったのだろうか。あんな環境からどうやって家族を引き上げたのだろうか。自分がどんな人物になれるかというイメージを思い描くことができたのはなぜだろうか。どう考えても望みのない状況の中で、どこに望みを見いだしたのだろうか。

多くの年月を経た後、わたしはフィリピン・マニラ神殿で、フィリピンで奉仕している全伝道部会長と夫人が参入するセッションに入りました。その





聖文の再発見

「わたしは、だれもが人生のいずれかの時点で、聖文の価値を自分で見いださなければならず、それも一度だけでなく、何度も繰り返し見いださなければならぬと確信しています。」

スペンサー・W・キンボール大管長
(1895 - 1985年)
『歴代大管長の教え——
スペンサー・W・キンボール』62

神殿のある部屋に入ったわたしは、非常に驚きました。その顧問の父親が目の前に立っていたのです。その物静かで控えめな人は、白い衣装に身を包んでいました。

その瞬間、目の前に二つの光景が浮かびました。最初は、男性が仲間とビールを飲み交わしながら人生を無駄に過ごしている光景です。2番目は、同じ男性が白い衣装をまとって聖なる神殿で儀式を執行している光景です。最初の光景とまったく対照的な2番目のすばらしい光景は、ずっとわたしの心と思い焼きついて離れません。

預言の言葉の力

この善良な兄弟が自分と家族を引き上げることができたのはなぜなのでしょう。答えは、神の言葉の力にあります。

日々のたゆまぬ聖文学習以上に偉大な霊的祝福をもたらしてくれるものはほとんどないと、わたしは考えています。教義と聖約第26章にある、預言者ジョセフ・スミスやほかの人を「強め、励まし、教えるために」¹与えられた啓示の中で、主は次の勧告を与えておられます。「見よ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは……聖文を研究すること……に時間を費やさない。」(1節)

モルモン書には「御言葉を説き教えることは……剣やそのほか、これまで民に起こったどのようなことよりも民の心に力強い影響を及ぼした」と書かれています(アルマ31:5)。

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は「真実の教義を理解するならば、態度と行動が変わります。人の行いは、行動について研究するよりも、福音の教義を研究した方が早く改善されるのです」と教えています。²

エズラ・タフト・ベンソン大管長(1899 - 1994年)は次のように言っています。「主は心の内側から外側に向けて働きかけられますが、この世は外側から内側に向けて働きかけます。この世は貧民窟から人々を連れ出そうとします

が、キリストは人々から悪や汚れた面を取り去り、自分自身で貧民窟から抜け出られるようにします。この世は環境を変えることによって人間を形成しようとしますが、キリストは人間自体を変え、それによって人間が自らの手で環境を変えられるようにします。この世は人の行動を変えようとしますが、キリストは人の性質を変えることができるのです。」³

わたしはフィリピンで育ち、つい1900年代初頭まで、聖書を読むことができるのは、宗教指導者に限られていたことを知りました。人々は神聖な書物を見ることも所有することもできなかったのです。

それに引き替えわたしたちは、かつてないほど容易に聖文を読める時代に生きています。世界の歴史の中で、神の子供たちがこれらの神聖な書物をこれほど自由に利用できる機会にあずかったことはありません。聖文が書かれた書物は書店やインターネットで簡単に購入することができます。聖文の電子版にも、全世界を網羅するウェブ上で即座にアクセスすることができ、いろいろな機器にダウンロードできます。これほど簡単に話の準備をしたり記事を書いたり、情報を検索したりできる時代はかつてありませんでした。

神はある賢明な目的があって、この新しい技術をわたしたちに与えてくださいました。しかし敵対する者はその攻撃の手法に磨きをかけ、神がわたしたちの益とするために与えてくださった技術の進歩を利用して、わたしたちを「自分のように惨めに」する目的を達しようとしています(2ニーファイ2:27)。

だからこそわたしたちには、天の御父が与えてくださった技術を効果的かつ着実に正しく活用する方法を学ぶ責任があるのです。

御言葉の神聖さ

末日聖徒は聖文を受け入れ、大切にしていますが、それにふさわしい行いをしていない場合や、聖文を大切に扱っていない場合があります。聖文の価値や大切さが理解されていない様子

は、リーハイの夢の中で巧みに描写されています。

「わたしは群れ集まる無数の人々を見たが、その中の多くは、わたしの立っているそばの木の所に通じる道にたどり着こうとして、押し進んでいた。

そして、その人たちは進んで来ると、木に通じている道を歩き始めた。

そこで、暗黒の霧が起こった。まことに、非常に深い暗黒の霧であったため、道を歩き始めていた人々は道を見失い、迷って姿が見えなくなりました。」(1ニーファイ 8:21-23)

鉄の棒にすぎることなく道をただ歩き始めればよいという



考えは愚かで、確実に滅びにつながります。しっかり鉄の棒につかまらないうちの意味を、ニーファイは次のように説明しています。「したがって、あなたがたはこれからもキリストを確固として信じ、完全な希望の輝きを持ち、神とすべての人を愛して力強く進まなければならない。そして、キリストの言葉をよく味わいながら力強く進み、最後まで堪え忍ぶならば、……御父は、『あなたがたは永遠の命を受ける』と言われる。」(2ニーファイ 31:20, 強調付加)

命の木にたどり着くために鉄の棒が非常に大切だということを理解していた人たちがどうなったか、さらに調べてみましょう。

「だれでも神の言葉に聞き従って、それにしっかりつかまらないうちは、決して滅びることがなく、また敵対する者の誘惑や火の矢も、彼らを打ち破って盲目とし、滅びに至らせることは

ない……。」(1ニーファイ 15:24)

アルマ書には、次のように書かれています。

「神の奥義を知ることは多くの人に許されている。しかしこれらの人々は、神が人の子らに授けておられるだけの御言葉しか伝えてはならないという、厳しい命令を受けている。神の御言葉は、人の子らが神に寄せる注意力と熱意の度合いに応じて与えられる。

したがって、心をかたくなにする者はわずかな御言葉しか受け取れないが、心をかたくなにしない者は、さらに多くの御言葉を与えられて、ついに神の奥義が十分に分かるようになるまで、奥義を知ることが許される。

また、心をかたくなにする者はわずかな御言葉しか与えず、ついに神の奥義をまったく知らない有様となる。その後、これらの者は悪魔に捕らえられて、悪魔の意のままに滅びに引き込まれる。」(アルマ 12:9-11)

聖文の定期的な研究をおろそかにするとは、心をかたくなにすることだとわたしは考えます。聖文の研究をおろそかにし続けるならば、御言葉の一部しか与えられず、結局は神の奥義について何も知ることができなくなると思うのです。これに対して、聖文を毎日研究するならば、霊的な強さと知識が身に付きますし、サタンの欺きを見破り、サタンがわたしたちを捕らえようとして仕掛けたわなを見つけることができるようになります。

以下の質問を自分に問いかけ、聖霊があなたの思いと心に語りかけてくださるようにしてください。

- わたしは毎日時間を取って聖文を研究しているだろうか。
- そうしていないならば、それはなぜか。
- その理由を主は受け入れてくださるだろうか。

聖文を毎日読む決心をしてください。今晚、聖典を読むまでは寝ないでください。聖文を読むならば、主の御心を行いたいという望みと、自分の生活を変えたいという望みが大きくなることでしょう。■

2011年3月22日にブリガム・ヤング大学ハワイ校で行われたデイポーショナルでの説教から。全文〔英語〕は、devotional.byuh.edu/archive をご覧ください。

注

1. 教義と聖約 24 章の前書き
2. ボイド・K・バック「恐れてはならない」『リアホナ』2004年5月号, 79
3. エズラ・タフト・ベンソン「神によって生まれる」『聖徒の道』1989年10月号, 5

じゅうぶん 什分の一 の祝福

主は什分の一を納めるよう命じられました。その報いとして、「天の窓を開いて、あふるる恵みを……注ぐ」と約束されています(マラキ3:10)。しかし、主の祝福は主の定められたときに、主の方法で与えられ、その祝福は霊的な場合もあれば物質的な場合もあります。

経済的な、もしくは家族の問題があるときは、什分の一を従順に納めている人々にとって、約束されている主の祝福がはるかかなたにあるように思えることがあります。しかし、次に挙げる末日聖徒たちが言っているように、什分の一を納めることにより、教会員は生活の中に神の御手があることに気づくことができるようになります。

什分の一を納めると

すばらしい祝福がもたらされます。
特に、生活の中に主の御手^{みて}があることに
気づく手助けとなります。

信仰を強める什分の一

結婚して間もなく、夫とわたしはボリビア東部の町から遠くに引っ越しました。引っ越し先では、わたしたち以外に教会員がいませんでした。新会員の夫とわたしは、主のすべての戒めに従いたいと望んでいました。

わたしたちは毎月、什分の一をビショップに渡すまでの間、封筒に取っておきました。夫は、この律法に従うならば祝福と守りを得られると固く信じていました。

わたしたちは賃貸用の家が見つかるまでの間、暑くて、高額で、快適でないホテルの一室に住んでいました。かわいらしい小さな家がたった1軒見つかりましたが、家主がほかの町に住んでいました。それまで、よそから引っ越して来た人が何人もこの家を借りようとしたましたが、家主を見つけることができませんでした。

ある朝、自分たちの状況について祈り終わった途端、ある青年が玄関の戸をたたきました。そして、家主がこちらに立ち寄っていると知らせてくれました。夫は急いで家主に会いに行き、わたしは家を借りられるよう祈り続けました。夫は戻って来ると、家主が破格の安い家賃で貸してくれることになったと言いました。さらにうれしいことに、その家は家具付きでした。当時、わたしたちの所持品といえば大きな箱二つとスーツケース一つ分の持ち物だけでした。

什分の一の律法は、金銭というよりは信仰と関連しています。夫の収入は多くありませんでしたが、什分の一を忠実に納めていたために主はわたしたちを祝福してくださり、良い家を見つけ、自活できるようにしてくださいました。

ルルデス・ソリス・デ・ドゥラン(ボリビア)

平安をもたらす什分の一

わたしは常に主と主の戒めを信頼してきました。しかし、経済状況が悪くなり、残業がなくなったために給料が減ってしまいました。わたしは什分の一を納めるのをやめ、そのことを主は理解してくださると自分に言い聞かせました。しかし、借金は膨らみ、給料は減る一方でした。

わたしが困っているのを見かねた親戚^{しんせき}たちは、何よりも什分の一を納めるべきだと言いました。什分の一を納めることにより試練を乗り越えることができる、と言うのです。それでもわたしは、いつも什分の一を納める代わりに請求書の支払いをしていました。財政の波が穏やかなときには進んで



什分の一を納めていたのに、財政の嵐^{あらし}がやって来ると恐ろしくなったのです(マタイ 14:28 - 31 参照)。

ある午後、給料をもらい自宅に帰る道すがら、わたしは借金のことを考えていました。目をつぶってこう祈りました。「お父様、どうすればよいのですか。」目を開けると、荒れ狂う海に今にも沈みそうなペテロを助けようと手を伸ばされる救い主の絵がバスの天井にあるのが目に留まりました。

両親に向けて

「たった1まいのコインだけだ」(『リアホナ』2011年8月号, 70-71)の中で、ダニエルは、たった1枚しかコインを差し出せなくても什分の一を納めることは良い選択であることを学びました。その次のページの活動は、什分の一の使い道について説明しています。家族でこの記事を読むことにより、什分の一について話すきっかけを得られるでしょう。教会が什分の一をどのように使っているかを子供たちが覚えられるよう、活動の絵を使って自分の什分の一用の瓶や箱を飾ってもよいでしょう。

過去の『リアホナ』は liahona.lds.org からオンラインで見られます。

ポスターの下には「ゆるぎない信仰」という言葉が書かれていました。わたしは、借金を返したいと望むならば什分の一を納める必要があることに気づきました。

家に帰ると、什分の一の封筒を見つけ、什分の一をその中に入れました。封筒を閉じると、「すべてはよし」という言葉が聞こえ、喜びを感じ心に平安がもたらされました。

神は御自身が賢明と見なされるときに、わたしの生活に祝福をお授けになることを知っています。そのときまで海は荒れたままかもしれませんが、従順であることによって今感じるこの平安は、不安を補って余りあります。

リカルド・レイェス・ビヤルタ(エルサルバドル)

改心をもたらす什分の一

娘が教会に入ったときに、什分の一を納めることについて、家族に問題が生じました。当時、夫もわたしも会員ではありませんでした。娘は自分で収入を得ていましたが、夫とわたしと同居していたため、わたしたちは収入を共有していました。娘が納めることに決めた自分の収入の10パーセントなしにどうしたら生活できるのか、わたしには見当もつきませんでした。その状況に徐々に慣れていきました。娘がお給料をもらって帰って来ると、わたしは真っ先に「什分の一はもう取り分けたの?」と尋ねるようになりました。

わたしは福音を学びたいと思うようになりましたが、什分の一を納めないといけないのなら教会には入らないでおこうと決めていました。一家から二人分の給料の什分の一を納めるのはさすがに多すぎると思ったのです。

1年以上教会に通うと、わたしは満たされない、不安な気持ちを感じるようになりました。よく考え祈ると、什分の一を払いたいと思っていることに気づきました。それまで反対していたことを考えると、そうしたいと願っている自分に驚きました。

次の日曜日、わたしは支部会長に什分の一の用紙をもらいに行きました。会員になるまでは什分の一を納められないと聞き、がっかりしました。ただし、献金はできました。そこで、わたしは収入の10パーセントを主の教会に献金しました。即座に心地よさと喜びと満足を感じました。パプテスマを受けて本物の什分の一が払えるようになる日が待ち切れませんでした。

わたしの家族が物質的な祝福に恵まれているのは、什分の一を納めているためだと知っています。しかし、最も大きな祝福は、わたしたちが天の御父に従うときに感じるたとえようなない気持ちです。それは、従順であることにより感じる満足感、天の御父に見捨てられることはないという確信、平安で幸福であるという気持ちです。

オリガ・ニコラエフナ・クリブコ(ウクライナ)

家族に祝福をもたらす什分の一

わたしは教会の中で育ちましたが、10代のころに道をそれてしまいました。教会に戻ったとき、夫のデールは同意してくれましたが、宣教師と会おうとはしませんでした。

活発な教会員になったわたしは、ビショップと神殿推薦状の面接を行いました。完全に什分の一を納めているかビショップから尋ねられ、納めていると報告できることをうれしく思いました。驚いたことにビショップは、「ご主人はあなたが什分の一を払っていることを知っていますか?」と尋ねました。わたしはほんとうに驚きました。どんな関係があるのでしょうか。ビショップは、デールに什分の一を納めていることを話した後でもう一度来るよう優しく言いました。

ある日曜日の朝、わたしはついに勇気を奮って、什分の一

を納めていることを夫に話しました。一言、「知っているよ」とデールが言ったのを聞いて、驚きました。それは、たくさんの什分の一の奇跡のうちの最初の奇跡でした。

程なく、わたしは夫から家計を任されるようになりました。家族全体の収入の什分の一を完全に納めたいと説明すると、夫は什分の一がもたらす祝福を目にしていたため同意してくれました。

今、わが家の戸棚はいつもいっぱい、わたしたちは毎日家族の祈りをささげ、毎月少なくとも1度は宣教師を招き、夫は家庭の夕べに参加しています。わたしは、いつの日か夫のデールが教会に加わると信じています。夫の改心は、一緒に完全に什分の一を納めると決意したときから始まったのです。

サンディー・グラハム (アメリカ合衆国, ニューヨーク州)

天の窓を開く什分の一

数年前、夫が仕事を失いました。わたしが受給していたわずかな年金で苦勞しながら請求書の支払いをし、食料品を買っていましたが、何とか生活できていました。



質問に答える

什分の一はどのように使われていますか

神の業のために収入の10分の1を自ら差し出すという什分の一の原則は、旧約の時代から教えられてきました(創世14:17-21参照)。主はこの方法により御自分の教会の資金を賄っておられます。現在、什分の一の使い道は次のとおりです——(1) 神殿や礼拝堂などの教会関連施設の建設費 (2) 教会の運営資金 (3) 伝道プログラムのための資金(宣教師個人の費用は含みません) (4) 教会のレッスンや組織で使う物資の調達費用 (5) 神殿や家族歴史の業など、その他の重要な業を進めるための資金。

夫は、教会に対するわたしの献身を支持してくれてはいたものの、請求書の支払いもままならないのに什分の一を納めることを不満に思っていました。しかし、わたしはこの戒めに従い続けるべきだと感じていました。

金銭的には恵まれていませんでしたが、わたしたちには小さな庭がありました。春が来ると、ニンジンやジャガイモ、豆、トマト、唐辛子、ハーブなどの野菜を植えました。夏の間に、庭はにぎわい、豊かな収穫物に恵まれました。プラムの木は果実の重みで枝が折れんばかりでした。夏中、わたしはせっせと果物と野菜を瓶詰めにし、冷凍し、ジャムを作り、パイを焼き、余った作物を隣人に分けました。

ある日わが家の小さな庭を歩いていると、神が天の窓を開いて「あふるる恵みを、あなたがたに注ぐ」(マラキ3:10)と約束されたことを思い出しました。

作物ではち切れそうな冷凍庫のことを思い出し、天の御父がほんとうにわたしたちを祝福してくださっていることに気づきました。その小さな庭は、窮地に陥っていたわたしたちを支えて余りあるものでした。神の戒めに従うときに神が祝福してくださることに心から感謝しています。

ジャクリン・カービソン (英国)

キリストを中心とした 復活祭の伝統を作る

わたしたちは復活祭で、
救い主の贈り物、つまり贖い^{あがな}を祝います。

ダイアン・L・マンガム

何年も前の復活祭の日曜日のこと、初等協会の後で4歳の息子のベンが色を塗った紙を楽しそうに振りながら集会所の廊下をやって来ました。ベン
は心底わくわくした様子で、「ママ、ママ、復活って聞いたことある?」と叫びました。わたしがその良い知らせを知っているか確かめたかったのです。ベン
は初等協会の先生の言葉にとても心を動かされ、復活について理解し始めたのを喜んでいるようでした。毎年復活祭の度に、そのような喜びをわたしたち皆が感じられたらどんなによいでしょう。

復活を含め、イエス・キリストの贖いは復活祭の中心を成すものです。キリストを中心とした伝統を作ることは、救い主のこれらの賜物^{たまもの}に焦点を当ててうえて役立ちます。

日曜日の礼拝と伝統

わたしたち末日聖徒は、復活祭に特別な祭り事やパレードまた祝い事などをせず、いつもの日曜日と同じようにともに礼拝します。ワードや支部の指導者は、話者と音楽がイエス・キリストに焦点を当てたものとなるよう計画します。復活祭の日曜日について十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老は次のように語りました。「主は今日、わたしたちに主から受けた祝福を思い起こさせるために、祭り事や祝い事などの宗教的慣習を特にお与えになっていません。しかし、どの家族にとっても、代々のすばらしい伝統を身近なものとする慣習を維持するのは大切です。」(「家族の伝統」『聖徒の道』1990年7月号, 21 - 22)



以下は、復活祭を祝いながら愛する人たちを親しく結びつける、様々な家族の伝統の例です。

キリストの復活に対する証^{あかし}を分かち合う

- ジャニス・ニールソン、カーク・ニールソン夫妻は、特別な「おじいちゃんとおばあちゃんの夕べ」を始め、それが復活祭の伝統となりました。ニールソン姉妹はこう言います。「祖父母としてわたしたちにできる最も効果的なことは、子供たちの家に行き、孫と一緒に座って、わたしたちには救い主に対する証があることを伝えることだと思います。」
- ヘクター・アルバ、シェリリン・アルバ夫妻は子供たちがまだ幼かったころ、復活祭の前の週に毎晩時間を作り、救い主の生涯の最後の週に起こった出来事について短いレッスンをしました。
- 亡くなった身内のお墓を訪れる家族もいます。亡くなった家族について子供たちに話し、イエス・キリストの復活に対して感謝を述べます。

卵は、救い主が復活により死の縄目を解かれたことを表す、万国共通とも言える復活祭の象徴となっています。そのため、卵に色を塗ったり、復活祭の卵探しのために卵を隠したり、イースターバスケットを贈ることは、世界共通の伝統です。

- ロシアでは、復活祭に「イエスはよみがえられた」と互いにあいさつすることがよくあります。あいさつをされた人は、「そのとおり、イエスはよみがえられた」とこたえます。アルバニアの伝統もこれに似ています。アルバニアでは赤い卵の形をした石をカチカチ鳴らしながら「キリストはよみがえられた」と言います。
- カレン・スペンサーにとって、デンマーク人の祖母流の復活祭のお祝いは大切な思い出となっており、祖母がしていたようにゆでた紫タマネギの皮で卵を染めるのが今でも好きです。カレンの家族は、卵が新しい命と復活の象徴であることについて話す良い機会だと感じています。
- 幼い子供のいる家族の中には、復活祭のメッセージ付きの卵探しを楽しむ家族もいます。プラスチックの

卵の中に、キリストの死や復活に関連することを象徴する小さな物と、聖文を入れておきます。それから復活祭の話の順に卵に番号を振ります。子供たちは、卵を順に開きながら、キリストの贖いと復活について学びます。

復活祭の音楽を聴く

音楽は、復活祭にすばらしい影響を与えることができます。

- デビッド・ビアー、ジョイス・ビアー夫妻は、救い主の犠牲を思い出すことができるよう、復活祭に関連したコンサートを探して出かけるのを楽しみとしています。
- デーブ・ハーモン、ナンシー・ハーモン夫妻は、ゲオルグ・フリードリヒ・ヘンデルのメサイアを聴くのが好きで、ハーモン姉妹はこの曲が「クリスマスよりも復活祭にふさわしい曲」だと感じています。
- ある母親は、その月は復活祭の音楽を練習するよう、音楽を習っている子供に勧めています。
- デール・オーカーランド、サラ・オーカーランド夫妻の家族はピアノの周りに集まって、復活祭に関する賛美歌や初等協会の歌を歌います。

復活祭の食事を一緒にする

家族の食事、意義ある復活祭の伝統としては世界共通です。

- ある家族はハムを食べ、キリストがモーセの律法を成就されたことについて話します。イエスが食べられたものを思い出すために魚を食べる家族もいます。エライザ・ベレイラ、ミッシェル・ベレイラ夫婦の家族は羊の肉をメニューに入れて、^{すぎこし}過越の祭の話に出てくる象徴について話します。
- わたしの家族は復活祭の食事の後、家族全員と、また一緒に食事をした仲の良い友人と記念撮影をします。30年以上もの楽しい家族の思い出が記録されている、特別な復活祭のスクラップブックがあります。
- 子供たちがすでに成人したある夫婦は、ほかの大人の友人を特別な夕食に招きます。そこで思い出を語り合い、復活祭の意味について考えます。

- 一部の国では、復活祭の休日には金曜日と月曜日が含まれます。タヒチでは、家族皆で別の島までピクニックに行くことがよくあります。中米では、長い休日を利用して家族を訪問して食事を共にし、それから神殿に参入する末日聖徒もいます。

別の日に非宗教的な伝統を共有する

末日聖徒の家族は、復活祭に関連する非宗教的活動を日曜日以外に行うことがよくあります。

- ブラジルのある末日聖徒のおばあさんは、復活祭の前の金曜日または土曜日に、かじりかけのニンジンをもやしを1本か2本、目につきやすい場所に置き、復活祭の卵をニンジンの近くに隠します。
- 復活祭の後の月曜日、ジョイス・ヘンドリックス、スコット・ヘンドリックス夫妻の家族はバーベキューをし、復活祭の特別な卵探しをして楽しめます。

常にキリストを復活祭の中心に据える

家庭の夕べでイエス・キリストについて学んだり、復活祭の音楽を聴いたり、特別な食事を楽しんだりすることにより、どの年代の人も霊性が強められます。必ずしも大勢で祝う必要はありません。一つの家族や独りの人が祝う復活祭の伝統も、同様に意義深いものです。

わたしたちも、復活の良い知らせを伝えたくて集会所の廊下をやって来た幼いベンのように、復活祭の喜びを覚え、祝うことができます。■

ダイアン・L・マンガム姉妹は、アメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



「わたしの手や足を覗きなさい」ハリー・マンダーソン画 © 田

家族の大切さ

今日^{こんにち}の世の中において家族は攻撃にさらされています。子供と青少年が天の御父の計画における家族の重要性に対する証^{あかし}を得ることがこれまで以上に大切であるのは、このためです（『若人の強さのために』〔2011年〕、14参照）。本号の52ページで、中央若い女性会長第二顧問のアン・M・ディブ姉妹は、青少年が家族についての証を持てるよう助ける方法を提案しています。

例えば、次のように書いています。「この〔家族についての〕宣言を読むときに、教義、助言、警告、約束された祝福、自分にとってそれらがどんな意味を持つかをよく考えてください。」

青少年に教えるための提案

- 「家族——世界への宣言」および『若人の強さのために』の家族の項を読みます。これらの指針を自分の家族にどのように当てはめることができるか話し合います。家族の大切さについての証を述べるとよいでしょう。
- 家族の大切さについての家庭の夕べを開くこともできます（lds.org/youth/learnの新しい青少年の教科課程にある、「結婚と家族」のテーマは良い資料です）。

- youth.lds.org にアクセスします。『若人の強さのために』を、次に「家族」の項を選択して、家族の教義について理解を深めるうえで助けとなる資料を見つけます。例えば、参照聖句、映像（例えば「父と息子」などを参照）、モルモンチャンネル・ラジオ番組、質疑応答、中央幹部の説教などの記事を探すとよいでしょう。

子供に教えるための提案

以下は、家族が霊的な目標に近づく様子を目に見える形で記録する方法の例です。

- 小さな透明の瓶を用意します。子供と一緒に、家族を強めるための現実的な目標を設定します。例えば、毎週月曜日に家庭の夕べを開く、家族で毎日聖典を読む、などの目標です。子供に、目標が書かれた、瓶のラベルを作ってもらいます。家族で活動を終える度に、ビー玉やビーズのような小さな物を瓶に入れます。瓶がいっぱいになったら、特別な家族の夕食や活動で祝ってもよいでしょう。
- 家族の祈りや聖文学習など、あなたが家族にやってもらいたい日々の活動を家族が行っている



「家族——世界への宣言」の勧告に従うことにより、家族を強め、守ることができます。

絵を、子供一人一人に描いてもらいます。家族の皆に見えるところに絵を飾ります。一日の始めに絵を表に向けます。家族がそのページに描かれている活動を終えたら、絵を裏返します。それでも絵は見えるので、目標と、その日家族を強めるために自分にできる事柄を思い出させてくれるでしょう。毎日の始めに絵をまた表に向けます。

また、これらの活動をすることにより家族が受ける祝福に子供たちが気づけるよう助けてください。家庭に御霊^{みたま}があることで感じる良い気持ちを認識できるよう子供たちを助けると、子供たちは家族を強める義にかなった行いのパターンに従いたいという望みを強めるでしょう。■

どこの教会ですか

数年前、わたしは車を車検に持って行く必要がありました。ある午後、自動車整備工場に到着すると、8、9台の車が列をなして検査を待っていました。

美しい春の日だったので、わたしは窓を開け、車のエンジンを切って、教会関連の資料と一緒に車に積んでいた「家族——世界への宣言」を取り出しました。ステーキ会長がステーキの会員に、その宣言を暗記するよう勧告したばかりでした。この自由な時間は暗記するのに絶好の機会となりました。そうしているうちに、わたしの車の点検の番になりました。

検査員の一人がわたしの車を整備工場の中まで運転して行くと言いました。それから、点検が終了するまでの間、隣の待合室で待つようにと言いました。

時間がたち、わたしはほかの客が何人もやって来ては帰って行くのを目にしました。しばらくすると、わたしは自分の車に何か深刻な問題があるに違いないと思い始めました。

ついに、検査員が整備工場から待合室にやって来て、わたしの車が検査に合格したと言いました。わたしは胸をなでおろしました。支払いを済ませ、検査員が車を止めた所まで歩いて行くと、彼がわたしを待っているのが見えました。

彼はじっとわたしを見て、「お客様、少しお話してもよろしいですか」と言いました。

「もちろん」とわたしは言いました。

「あなたの車の点検にとても時間がかかってしまったことをおわびします。実は、車を工場の中に運転して行った

ときに、家族について書かれた紙が助手席にあるのを見つけたのです。車をすぐに返さずに、工場に座り込んでその紙を何度も読み返してしまいました。」

彼はこう続けました。「これはどこの教会ですか。この家族についての文書は何ですか。わたしにも1枚頂けないでしょうか。使徒が記したものと書かれていますが、つまりイエスの時代と同じように^{こんにち}今日も地上に使徒がいるという意味なのですか。お願いします。知りたいのです。」

わたしは言葉も出ないほど驚きましたが、心を落ち着かせました。わたしは彼に、彼の言うとおり、イエス・キリストの時代と同じように使徒^{および}預言者が地上にいると話しました。そして預言者ジョセフ・スミスと福音の回復について伝えました。それから、車に積んでいた教会関連の資料を全部渡しました。彼は、宣教師が連絡できるよう、名前と電話番号を教えてくださいました。最後に、彼は心からの感謝を述べました。

車で走り去るわたしの目に涙があふれてきました。車の座席に「家族——世界への宣言」を置いておいたことに感謝しました。

わたしは、その男性の目に宿っていた熱意を一度も忘れたことはありません。この経験は、家族についての宣言が持つ力と、現代に啓示が実在すること、そして日常的な、時には予期せぬ状況の中で、福音を分かち合うことの大切さについて教えられた忘れられない教訓となりました。■

アンジェラ・ファレンティン（ニュージーランド）

「家族について書かれた紙が助手席にあるのを見つけたのです」と検査員は言いました。「工場に座り込んでその紙を何度も読み返しました。」



じゅうぶん まず什分の一を納めました

2006年の夏、夫はトラックの運転手として働いていました。彼はいったん仕事に出るとおよそ2週間家を留守にしたので、請求に対する支払いはおもにわたしの責任でした。夫の収入は月によって違っていたため、家計の予算を上手に組まなければなりませんでした。

7月の給与はいつもより少なく、予定していた額に達しませんでした。わたしは小切手を預金した後、銀行口座の金額と支払予定のリストを比べてみました。すると、什分の一を含むすべての支払いをした場合、およそ30ドル足りないことが分かりました。わたしたちはこれまで什分

の一を完全に納めてきており、什分の一を納めるのを引き延ばすとそれが難しくなるということを数年前に教訓として学んでいました。今回も、什分の一を納めないという選択肢はありませんでした。

経済的に苦しいとき、まず什分の一の小切手を切って、その後に奇跡的な方法で収入を得たという人々の話を聞いたのを、わたしは思い出しました。わたしは、いつもはその日に送る必要のある分に対して小切手を切っており、什分の一を納める小切手を最初に切るということはまれでした。

しかしその日は、まず什分の一を納める小切

手を切る必要があると思いました。請求に対する支払いができるように主が道を備えてくださると、知っていたからです。

次の月曜日に、長男のために申し込みをしておいたコミュニティークラスがキャンセルになったという連絡を受け、前の月に切った20ドルの小切手が返却されるとのことでした。その20ドルの返金があって小切手帳の残高を確認したところ、前の週に23ドルの計算違いをしていたことが分かりました。さらに2日後、小児科医の事務所から払いすぎということで36ドルの払い戻し小切手を受け取りました。こうして30ドルの不足ではなく、余りがおよそ50ドル出たのです。

主はマラキ3章8-12節の中で、わたしたちが什分の一を納めるならば祝福を注ぐと約束しておられます。わたしたちが祝福を受けたのは、什分の一を納めるようにとの主の戒めに従う行動を最初に起こしたからであることを、わたしは知っています。■

キャリー・ダルビー・コックス
(アメリカ合衆国、アラバマ州)

すべての支払いをした場合、およそ30ドル足りないことが分かりました。それでも、什分の一を納めないという選択肢はありませんでした。



ケープタウンにとどまる

わたしはイギリス・ロンドン伝道部で伝道の奉仕をして以来、ロンドンに戻ってそこで暮らして働きたいと思っていました。修士課程を終えたばかりであり、ロンドンに引っ越すのにちょうどよい時かもしれないと思いました。そして、仕事も決まり、引っ越しのことを前向きに考えていました。

しかしある夜、わたしは、主の御心と、ロンドンに引っ越すことが自分にふさわしいことかどうかを知りたくて祈りました。そして、眠ろうとしていたときに、ある思いがわいてきました。「あなたはケープタウンにとどまる必要がある。」この思いが数時間、繰り返しわき上がってきたのです。とうとうわたしは、神が望んでおられるのはわたしがケープタウンにいることであると結論づけるに至りました。それで、引っ越したいとは思いましたが、とどまることに決めました。その後すぐに眠りにつきました。

翌日、わたしは前の夜に起こったことを合理化し始め、やはりロンドンへ行くべきかどうかと考え続けました。ところがその夜も、前の夜と同じ経験をしました。「あなたはケープタウンにとどまる必要がある」という思いが、何度も何度も心の中にわいてきたのです。わたしはこの思いについて深く考え、主はほんとうにわたしがケープタウンにとどまることを望んでおられると確信しました。そして、わたしは、主がわたしに望んでおられることを行いたいと思いました。

次の週にステーキ会長から電話があり、会いたいと言われました。わたしはすぐに、主がわたしのために召しを考慮しておられると分かりました。わたしがケープタウンにとどまる必要がある

のは、わたしのなすべき務めを主が備えておられるからであると、御霊が証しました。

わたしはステーキ若い女性会長としての召しを受け入れ、その後の数年間奉仕して、主の御手に使われる者となることができました。その結果、わたしの人生にもわたしが仕えた人々の人生にも祝福が与えられました。わたしの指導者としての能力は増し、ほかの人々への奉仕を通じて主は多くのことをわたしに教えてくださいました。

そのとき以来、わたしが主に寄せる信頼はさらに深くなりました。主の御心を知って行うように導く御霊の静かな促しに、わたしは何と感謝していることでしょう。受ける靈感に疑いを抱かず進んで従うことによって、わたしは大きな喜びと平安を味わい、天の御父がわたしの生き方を喜んでくださっていることが分かったのです。■

ニッキー・バーゴイン・スミス
(アメリカ合衆国、ユタ州)



ある夜、わたしは、主の御心と、ロンドンに引っ越すことが自分にふさわしいことかどうかを知りたくて祈りました。

なぜまだ什分の一を納めているのですか

数年前に夫は職場を解雇されました。雇い主は解雇してすまないと思ったようで、夫に別の勤め先を紹介してくれました。しかし、そのためには大変な引っ越しをしなければなりません。それでも、わたしたちは仕事を続けられることを含む、多くの祝福があるだろうと思いました。

ところが、引っ越した後で、その仕事がないことが分かりました。だから納得できる説明はありませんでした。分かったことはただ一つ、仕事がなく、お金もほとんどない状態で新しい地にいるということでした。わたしたちは引っ越す前に負債の支払いを済ませ、引っ越すときに最後の貯金を使い果たしたのです。

夫はあらゆる手立てを尽くしてフルタイムの仕事を探しました。そうしている間にも、彼は小さな仕事をし、わたしも手仕事をして、主に什分の一を納めた後でもちょうど生活できるだけの分を得ていました。わたしたちは何をするにも節約しました。しかし、学校の費用を払い、食べ物と服を買い、夫が出处で仕事を探すために必要なお金を工面することは、容易ではありませんでした。

わたしたちは何度も涙を流しましたが、主が祝福してくださるという信頼は決して失いませんでした。そして、娘たちが健康で信仰深いこと、心の通った結婚生活であること、優しく接してくれる親族やワードの会員がいることなど、すでに受けている祝福に感謝しました。

教会員ではない多くの友人から、「そんなに困っているのに、なぜまだ什分の一を納めているのですか」と尋ねられました。その返事はいつも同じでした。主からそう命じられているからです。



引越した後で、夫の仕事がもうないことが分かりました。わたしたちは、仕事がなく、お金もほとんどない状態で新しい地にいました。

そして、わたしたちは神のものを盗みたくないのです（マラキ3:8-9参照）。

従順であれば主が祝福してくださるということ、わたしたちはいつも知っていました。わたしたちが望んでいる方法によってはないかもしれません。しかし、主がわたしたちの家族にとって最善であると思われた方法で必ず祝福してください。わたしたちは決して経済的な問題を口実にして、主に仕えるのをやめようとはしませんでした。事実、主に仕えたいという望みは増したのです。

現在、夫は仕事に就いており、失業中に負った借金への返済ができるようになっていました。経済的に楽になるにはまだしばらくかかるでしょう。しかし、「十分の一全部を……倉に携えて」行けば、神は「天の窓を開いて、あふるる恵みを」注いでくださるということ、わたしたちは知っています（マラキ3:10）。■

ラケール・ペドラサ・デ・プロシオ
(アルゼンチン)

結婚するに ふさわしい時

アリッサ・ストロング

アネとベンジャミンは教育が大切であることを知っており、二人とも大学で勉強したいと思っていました。

将来の結婚をこの計画にどのように組み込もうとしたのでしょうか。

アネは高校生のとき、大学に通う日を楽しみにしていました。彼女が学べる学科は非常に多く、また選べる仕事も非常にたくさんありました。「わたしはいろんなことに興味があったので、その分、多くのいろんなことを行える可能性がありました」と、彼女は語ります。

アネはノルウェーの小さな町に住んでいましたが、とても良い高校に通っていました。彼女の学校は生徒たちに、一生懸命に勉強して良い成績を取ることを、そして大学に通うことを奨励していました。アネの学校の多くの生徒が、卒業後すぐに大学の勉強を始めました。アネも若いときから、同じようにする計画を立てていました。しかし、学校に行くことは、アネが自分で設けていた目標の一つにすぎませんでした。

「わたしは若い女性のレッスンや『成長するわたし』で教えられてきました。わたしの目標はいつも、神殿で結婚することでした」と、アネは語ります。

「ふさわしい時」とは

アネはある晩、地元のインスティテュートで、伝道から戻って来たばかり

のベンジャミンという名の帰還宣教師に会いました。「わたしは彼に会った最初のその瞬間から、多くの点で彼に印象深いものを感じました。彼とはとても話やすく、楽しかったです。福音について気楽に話すことができました」と、アネは語ります。

ベンジャミンは彼女にデートを申し込み、それはうまくいきました。その後の数か月間、ベンジャミンとアネはデートを重ねました。サッカーやバレーボールをし、ハイキングに行き、映画を見ました。次第にお互いをもっとよく知るようになり、友情は恋愛へと発展しました。

二人の交際は続き、彼らの思いと計画は結婚へと変わりました。アネとベンジャミンは、永遠に一緒にいたいと思う相手を見つけて幸せでした。ところが、この関係は二人が予期していたよりも早く、真剣なものとなりました。若いころに立てたすべての計画はどうなるのだろうか。まだ教育を受けることができるだろうか、結婚するということはほかの目標を先に延ばすということなのだろうか。

彼らの友人や家族の中にはそのよう

に考えた人々もいました。

「家庭や学校、職場のわたしの周りの多くの人が、この関係がわたしの教育にどれほどの影響を及ぼすことになるのかと心配しました」と、アネは語ります。「この関係が続くとわたしが知っているのかとさえ、彼らは疑ったものです。」

「わたしの同年代の友人たちは、結婚すればわたしは大学に通えなくなると思っていました。彼女たちにとって、それはわたしの才能と機会を無駄にすることのように思われたのです」と、彼女は語ります。

ベンジャミンの知人の中にもそのように考えた人々がいました。「二人は若すぎる、もうすぐ妻になる人はまず教育を終えるべきだ、結婚するとしたらそれは子供を持つということであってそれには若すぎると、人々はわたしに信じ込ませようと思いました」と、彼は語ります。

アネとベンジャミンは、福音が家族と結婚を強調していることを信じていました。しかし、信仰を異にしているほかの人々は一般に、この優先順位を口にしません。少なくともヤングアダ



ルトに対してはそうでした。「わたしの町の人々は教育と仕事にとても力を入れています。それは良いことですが、家族や宗教の入り込む余地があまり残されていません」と、アネは語ります。

ベンジャミンはこう語っています。「行くべきふさわしいことは、伝道から帰り、自分の好きになった人を見つけて愛し、それから、結婚をする決心をして聖霊から証を得た後で結婚することだと、自分はいつも考えていました。それは自分にとってはとても簡単なことのように思われましたが、突然にすべてが混乱し、暗く、困難になっていました。」

主が述べておられることは

ベンジャミンとアネは二人とも、友人たちの助言と意見が気になりました。丸1年、二人は結婚するにふさわしい時を判断するのに苦しみました。そしてついに、最も大切な導きは主から与えられるということが分かったのです。そこで、二人は多くの時間を費やして、聖典と、家族と結婚と教育について述べた預言者の言葉を調べました。

「そのすべての資料が、結婚と教育が両方ともいかに大切であるかを述べています」と、アネは語ります。彼女が導きを求めて調べ続けていたとき、ついに、あるインスティテュート指導者との会話の中ではっきりと分かったのです。「彼女はわたしにこう言いました。『ふさわしい人がいて、ふさわしい場所（神殿）があるなら、それがふさわしい時なのよ』と。」アネは思い出してこう語ります。「これでほんとうに気が楽になりました。これが自分の取るべき道だと確認する御霊の促しを何度も受けました。ベンジャミンとわたしは結婚するということ、そしてそれがこのときにわたし



ベンジャミンと
アネと
その娘オレア

のなすべきふさわしいことであるということが分かるようになったのです。」

アネは、それでも自分が教育を受けるように努力することを知っていました。なぜなら、それも主の預言者が奨励していることだったからです。しかし、今のところ、結婚が彼女にとっての最優先事項であると分かっていました。

アネは、その年齢での結婚を幸せなものと考える人がほとんどいないことを知って、悲しく思いました。しかし、御霊の促しを見分けるようになることと、仲間の考えではなく主が何を思っておられるかに集中することを選びました。「これが自分の行った選びをしっかりとまっすぐに貫くために必要なことでした」と、彼女は語ります。

ベンジャミンは、そのときに結婚するのが自分にとって正しい決定であると気づくような、特別な転機をまったく経験しませんでした。その代わりに、彼はこう語ります。「基本に戻らなければならないことに気づきました。なぜ自分はここにいるのか。自分が地上にいる目的は何か。」

ベンジャミンは、聖典と、預言者と使徒の言葉を調べるときに、天の御父に頼って祈りました。また、神権の祝福も受けました。彼はこう語ります。「自分は家族とともに神のみもとに

帰るために地上に送られたということが、はっきりと分かりました。それに取って代わる大きな業やその他の務めは一つもありません。『家族——世界への宣言』にそう書かれています。故意にこれを無視してほかのことを何か行えば、わたしは神の戒めに不従順になってしまいます。

これまでの生涯で教えられてきたことは真実であり、それはほかの人々の考えに優先するということが示されたとき、わたしは光に照らされた気持ちでした。それまでに教えられてきたことに従うことにしました。」

アネとベンジャミンは、2009年7月16日にスウェーデン・ストックホルム神殿で結婚しました。「神殿の結び固めの日が訪れたとき、とても平安を感じました」と、アネは語ります。「すべてがとても簡素なものでした。美しかったです。世俗的な装飾は何一つありませんでした。両親やきょうだい、それにベンジャミンと一緒にいることをとても幸せに感じました。真実の愛に満たされたひとときでした。」

結婚に伴う祝福

結婚に至るまでの数か月は大変でしたが、アネは自分が経験した試練を感謝しています。「自分の態度をはっきりとさせざるを得ませんでした」と、彼女は語ります。「神は聖典と祈りと神権の祝福によってわたしを助け、



結婚のチャレンジに打ち勝つ

七十人第一定員会名誉会員のアール・C・ティンギー長老は、ヤングアダルトを対象にしたディボーションナルで、ヤングシングルアダルトが結婚に関して抱いている可能性のある6つの懸念事項について話をしました。

「1. 帰還宣教師に対して、結婚することへの勧告が以前よりも弱くなったと思う人がいるかもしれません。もしそう感じるのなら、その印象は間違っています。すべての帰還宣教師は、伝道後も教会に活発に集い、教育を受け、就職に必要な技術を修得し、そして永遠の伴侶を見いだす努力をするように勧められています。

2. 一部の若い兄弟は、ある若い姉妹たちの期待にこたえられないと感じているかもしれません。……そのような不安は、適切なコミュニケーションを通して解消されるでしょう。

3. 教育やキャリアを重視することは、結婚の優先順位を低めることがあります。結婚、教育、キャリアは同時に取り組めることです。家族を持つことができるのに、家族を持つことなくキャリアだけを追求するのは悲劇です。

4. 自分の人生を単に楽しいだけの、自己本位なものにしてはいけません。人生は楽しむためだけのものではないのです。所有物を得ることに執着しないようにしましょう。責任を受け入れましょう。

5. 結婚に関する……否定的な情報……を見て、結婚に躊躇することがあるかもしれません。『離婚する人が多いのに、なぜ結婚する必要があるのですか』と言う人もいます。ほかの人が離婚したからといって、あなたが幸せな結婚ができないということはありません。人に左右されないでください。自分は決して失敗しないと決意してください。

6. 経済的な理由から結婚を引き延ばす人もいます。おしゃれな暮らしができるほどの資金がたまるまで結婚を引き延ばすのは、賢明ではありません。そのような選択をすれば、夫婦で苦勞を分かち合い、調整し、生活の問題に立ち向かうという、人生の醍醐味を逃してしまいます。」

「ヤングアダルトへの3つのメッセージ」『リアホナ』2007年4月号、30より

強くしてくださいました。当初否定的であった人々の多くが、わたしの選んだことがふさわしく正しかったと認めるようになりました。わたしがほんとうに幸せを見いだしたことを、彼らは理解しています。そして、わたしが自分自身と主を信頼していることに、感謝を述べてくれました。」

アネとベンジャミンは結婚後、新しい町に引っ越して、そこで大学の勉強を始めました。それから間もなく、二人は娘のオレアを迎え、アネは学業を一時中断しています。しかし、アネは、教育を受けることと家にいて娘を育てることの両方ができるように、オンラインで定時制の教育を受け続ける予定です。このような調整することはとても大変なことだと分かっていますが、そうすれば望んでいる教育を受けることができるのです。

「ある人々は、結婚して家族としての生活を始めるためにわたしが多くのことを犠牲にしなければならないと思ったかもしれません。そして、そのように見えたでしょう。でも実際には、わたしはすべてを得てきました。主を第一にすることを選ぶときにほかのものがすべて与えられると、わたしは知っています。わたしは学位を得ることをとても楽しみにしており、感謝しています。とりわけ、永遠の家族となる機会があることを感謝しています」と彼女は語ります。

ベンジャミンもそれに同意して、こう語ります。「わたしは神を第一とするように教えられ、神はそのようにわたしの人生を導いてくださいました。わたしにとって、家族か教育かという選択はありませんでした。まず家族で、同時に教育でした。その他の決断についても同じです。神か無かではありません。神が第一で、その後にはほかのすべての物事が続くのです。」■

**福音について語り合うときに、
相手が議論に勝とうするだけの場合、
わたしはどうすればよいでしょうか。
そのような人は
証を聞こうとする気持ちがありません。**

論理や良識はもちろん真理を理解するのに役立ちます。また、教会と
その教えを擁護するために論理的な議論をすることは可能です。
しかし、相手の信じていることを理解しようとせず、議論に勝つことにも
もっと関心を持つ場合、論争はいつまでも続きます。あなたが信じて
いることや知っていることは真実であるという証を、毅然として述べて
ください。

あなたと話している相手が論争を仕掛けてくる場合、その人が
信じていることは尊重するが、見解の相違を認めなければなら
ないということをその人に知らせましょう。宗教上の信念につ
いて話し合うのは、「勝つ」ためではありません。また、論争
したり、腹を立てたりすれば、あなたが信じていることの模範
とはなりませんし、聖霊はあなたとともにいてくださらない
でしょう。

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は、わた
したちが教会について人々に話すときにどのような姿勢
であることが必要かについてこのように教えています。
「自己を弁護したり、神学論争に勝ったりするため
でなく、相手が真理を理解できるように助けるために話
してください。非難する相手に対する最も力強い答えは、
心からの証です。愛と柔和さがなければそのような証
はできません。」¹

御霊に関する事柄は、「巧みな知恵の言葉によらない
で、霊と力との証明」によって学ぶものです(1コリント
2:4)。たとえ相手の心が変わらなくても、あなたは証
を述べなければなりません。そして、あなたが何を信じて
いるかを人々に知らせましょう。また、証を伝えるときは、どの
ように語るかが、何を語るかと同じくらいに大切かもしれませ
ん。根気よく愛をもって話してください。御霊に従ってください。
そうすれば、あなたは御霊の促しを受けて、何を言うべきか、
(また何を言ってはならないか、)そしてどのように対応するべき
かが分かるでしょう。■

注

1. ロバート・D・ヘイルズ「クリスチャンらしい勇気——弟子としての犠牲」『リア
ホナ』2008年11月号、73

クラス会長会と 定員会会長会の召しは 青少年にとって どのような意味が あるでしょうか。



若い女性クラス会長会とアロン神権定員会会長会は、その職にある人自身と彼らが仕える人々の双方に恩恵をもたらします。

会長会の会員は、クラスや定員会について靈感を受ける権利を与えられています。そして靈感によって、クラスや定員会の会員、特に新しい会員やあまり活発でない会員のために、どのように祈り、どのようにフェロウシップすればよいかを知ることができます。会長会の一員であることは、青少年が委任や奉仕、コミュニケーション、評議会への参加など、指導技術を学ぶのに役立ちます。集会や活動を計画し指導できるようになることは、その青少年指導者が伝道やその他の将来の召しに備えるのに役立ちます。義務を果たすことの大切さと、計画を作成してそれを実行する方法を学べるからです。

クラスと定員会の会員たちも、これらの指導者を通して祝福を受けます。彼らには話をする同年代の仲間がいて、その人が福音に従って生活し、多くのことを行えるように助け励ますことができます。特に、「成長するわたし」や「神への務め」を完了するように助け励ますことができます。クラスや定員会の会長会は、ビショップリック青少年委員会で奉仕するので、クラスや定員会における問題、心配な事柄、善い行いについてビショップに知らせ

ることができます。

クラスや定員会の会長会に召されることは、大きな責任です。その責任によって、青少年はより大きな信頼を得、指導者となり模範となり、またクラスや定員会の中に愛と一致をはぐくむことができます。■

『若人の強さのために』では
極端な髪型を
避けるように言われています。
どのような髪型が
極端すぎると
見なされるのでしょうか。

何を極端と見なすかは、文化や時代によって変わるかもしれません。したがって、どのような髪型がすべての人にとって極端すぎるのかを正確に言うことは難しいでしょう。では、髪型が「極端」であるかどうか、どうすれば分かるのでしょうか。「なぜこのようにしているのか」と、自分自身に問いかけてみてください。「自己主張するため」あるいは人の注意を引くためだけに、わざわざ普通でない髪の色や長さ、型にしているとすれば、『若人の強さのために』に述べられている

「極端」に走っているかもしれません。¹

教会指導者は、スタイルや個性を度外視して質素で平凡なあなたでいてもらいたいために、極端を避けるようにと言っているのでしょうか。もちろん、そうではありません。彼らがこの勧告を与えているのは、あなたの外見によってあなたがどのような人物であるかが示されるからです。「あなたは、自分の体がどれほど尊いか知っていることを、服装と外見を通して主に示すことができます。あなたは自分がイエス・キリストの弟子で〔ある〕ことを示すことができます。」² 極端な髪型は、このメッセージの重要性を薄め、あなたについてより多くの世俗的なメッセージを送ることになる可能性があるのです。■

注

- 1.『若人の強さのために』（小冊子、2011年）7参照
- 2.『若人の強さのために』6

わたしたちは 死ぬとどうなるの でしょうか

それは基本的な質問であり、
神は古代および現代の預言者を通じて、
わたしたちに
答えを与えておられます。

愛にあふれる天の御父は、現世の生涯を終えたら何が起るのか、わたしたちに幾らかの知識を与えておられます。亡くなったわたしたちの愛する人々は今どこにいて、わたしたちは皆、最終的にどこへ行くのでしょうか。それが理解できるよう助けてくれる真理を以下に挙げます。

霊界について 何が分かっているのでしょうか

霊界はどこにあるのでしょうか

ブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877年）は、かつて地上に住んでいた人々の霊はこの地上に住むわたしたちの周りにいるが、わたしたちの目には見えないと教えています。¹

霊界はどのような所なのでしょうか

それはどのような霊かによって異なります。義人の霊はパラダイスを経験します。そこには幸福、安息、平安があり、災難、不安、憂いはありません（アルマ40：12 参照）。悪人の霊は地獄を経験します（アルマ40：13 - 14 参照）。地獄は「人の思いに生じる失望という苦痛」と定義されることもあります。²



話し合いに参加する



3月に、皆さんは神権定員会、若い女性、そして日曜学校のクラスでイエス・キリストの贖いについて学びます。贖いによりもたらされる数多くの祝福の一つは、贖いを通して、わたしたちが皆復活することです。贖いの知識によって、困難なときの物の見方がどのように変わるか考えてみてください。特定の状況、贖いと復活に関する証から受けた祝福を思い出し、その経験を家族と、あるいは次回日曜日に行われる教会のレッスンで分かち合うとよいでしょう。

霊はどのような姿をしているのでしょうか

人の霊は前世では大人の姿をしていました。たとえ幼児や子供のときに死亡しても、霊界では前世と同じ大人の姿をしています。³

霊界の霊にはわたしたちが見えるのでしょうか

はい、必要なときには見えます。ジョセフ・F・スミス大管長（1838 – 1918年）によればこういうことです。つまり、霊界にいる霊には、わたしたちに彼らの姿が見えるよりもはっきりと、わたしたちの姿が見えます。「彼らのわたしたちに対する心遣いや愛、わたしたちの福利に対する望みは、わたしたちが自分自身に対して感じるそれよりも大きいに違いありません。」⁴

霊界でも霊は誘惑を受けるのでしょうか

現世にいる間忠実だった霊に対して、サタンは霊界で何の影響力もありません。邪悪な霊は、この地上とまったく同様、霊界でもサタンに従います。⁵ 十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老が説明しているように、現世は悔い改める期間です。なぜなら、「死すべきこの世にいるときにこそ、肉体と霊はともに学ぶことができるからです。」⁶

霊は霊界で何をしていますのでしょうか

一つ分かっているのは、まだ復活していない忠実な霊は獄にいる霊の中で伝道の業を行っているということです。⁷ また、忠実な霊の中には、家族と教会の組織が存在するということが知らされています。⁸

意義, 啓発, 希望

「復活は信仰の柱です。復活は教義に意義をもたらし、わたしたちの行動を啓発し、将来への希望をもたらします。」

十二使徒定員会 ダリン・H・オークス長老
「復活」『リアホナ』2000年7月号, 17



4 イエス・キリストの贖い、神権定員会、サイモン・デューイ画



復活について 何が分かっているのでしょうか

何人の人が復活するのでしょうか

この地上に生を受けたすべての人が復活します(1コリント15:21-23 参照)。

復活体はどのような体でしょうか

復活体は次のような体です。

- **不死不滅である。**「この死すべき体は不死不滅の体によみがえる。……もう死ぬことはあり得ない。」(アルマ11:45)
- **完全である。**「霊と体は再び結合して完全な形に[なる。]」(アルマ11:43) ジョセフ・F・スミス

大管長は次のように説明しています。「心身の障がいはい取り除かれます。欠陥は一掃され、男性も女性も、霊の完全、すなわち神が初めに計画された完全を得るのです。」⁹

- **美しい。**ロレンゾ・スノー大管長(1814-1901年)はこう語っています。「復活した男性あるいは女性の姿ほど美しいものはありません。」¹⁰
- **光り輝いている。**十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は次のように語っています。「皆さんの霊は若々しく、いきいきとして、美しいです。たとえ肉体が老いて病に冒されていても、またはどんな不自由さや障がいを抱えていても、復活して霊と肉体が結合するとき、皆さんは光り輝くに違いありません。そして皆さんは栄光を受けるのです。」¹¹
- **悲しみも痛みもない。**「もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。」(黙示21:4)

子供のときに死んだ人々は どうなるのでしょうか

ジョセフ・スミスによれば、幼くして死んだ子供の両親は「その子が復活した後その子の霊が完全な背丈に達するまで、[その子を]育てる喜びと楽しみ、満足を得るでしょう。」¹²

火葬された人々、 あるいは埋葬されなかった人々は どうなるのでしょうか

教会は火葬を奨励していませんが、たとえどのような方法で葬られようとも、すべての人が完全な肉体で復活することをわたしたちは信じています。ブリガム・ヤング大管長は復活するときの状態について次のように教えています。「この世でわたしたちの肉体を組織していた特定の分子がたとえ海の深みに置かれていようと、一つの分子は北に、別の分子は南に、またほかの分子は西にあらうと、わたしたちがそれらを大切にしているならば、一瞬のうちに寄せ集められて、霊がそれを所有するのです。」¹³

だれが、またいつ復活するのでしょうか

第一の復活または「正しい者の復活」(教義と聖約76:17)

▲キリストの復活の時

日の光栄を受け継ぐ、
預言者および一部の義人
(モーサヤ15:21-25)

▲キリストの再臨の時

日の光栄を受け継ぐ人々
(教義と聖約76:50-70;
88:96-98 参照)

▲福千年が始まる時

月の光栄を受け継ぐ人々
(教義と聖約88:99
参照)

第二の復活または 「正しくない者の復活」 (教義と聖約76:17)

▲福千年が終わる時

星の光栄を受け継ぐ人々
(教義と聖約76:85;
88:100-101
参照)

滅びの子
(教義と聖約76:43-48;
88:102 参照)

なぜ肉体の復活があるのでしょうか

肉体の復活は神の計画の一部であり、アダムの時代から預言者によって教えられてきました（モーセ5：10参照）。しかし、「悪魔は肉体を持っておらず、これが悪魔にとっての罰となっています」¹⁴ので、人々が肉体の復活を信じないようにこの教えをゆがめているのです。

肉体は霊にとって獄のようなものであり、霊が肉体から解放されたときに初めて真の幸福が得られると信じている人が大勢いますが、実はそうではありません。主は肉体の復活が次の理由で必要なことを明らかにしておられます。

- **復活を通して、満ちみちる喜びが得られる。**「分離しないように結合した霊と元素〔だけが〕、満ちみちる喜びを受ける。」（教義と聖約93：33） また、死んで、

霊界においてキリストの復活を待っていた人々は「その霊が体から長い間離れていることを一つの束縛と考えた」（教義と聖約138：50）ことも分かっています。

- **復活はわたしたちが天の御父の計画を選んだことに対する祝福である。**この地上に生まれる前に、この地上に生を受けたすべての霊は、サタンの反逆ではなく、天の御父の計画に従う選択をしました（アブラハム3：23－28参照）。その結果、わたしたちは死すべき肉体を得、その後はキリストの復活の賜物^{なまもの}を通して復活し、不死不滅の肉体を得られるようになります。前世でサタンに従った人々は、いかなる種類の肉体も得られなくなりました。

- **復活を通して、わたしたちは神のみもとに連れ戻され、裁きを受ける。**わたしたちは復活の力によって神のみもとに連れ戻され、それぞれの働きに応じて裁かれるとモルモン書ははっきりと教えています。¹⁵
- **復活は救いの条件である。**ジョセフ・スミスは次のように教えています。「だれも幕屋〔肉体〕によらなければ、……救いを得ることはできないのです。」¹⁶
- **復活を通して、わたしたちは天の御父やイエス・キリストのようになることができる。**「御父は人間の体と同じように触れることのできる骨肉の体を持っておられる。御子も同様である。」（教義と聖約130：22）

注

1. 『歴代大管長の教え——プリガム・ヤング』305－306参照
2. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』224
3. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』131－132参照
4. ジョセフ・F・スミス, *Gospel Doctrine*, 第5版(1939年), 430－431
5. 『歴代大管長の教え——プリガム・ヤング』305；アルマ34：34－35参照
6. M・ラッセル・バラード, "Is It Worth It?" *New Era*, 1984年6月, 42
7. 教義と聖約138：30参照；『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』408も参照
8. *Gospel Principles* (2009年), 243参照；霊界について詳しくは、デール・C・モーリッツェン「霊界はわたしたちの次の住まいである」『聖徒の道』1977年12月号, 599－604参照
9. ジョセフ・F・スミス, *Gospel Doctrine*, 23
10. ロレンゾ・スノー, *The Teachings of Lorenzo Snow*, クライド・J・ウィリアムズ編(1996年), 99
11. ボイド・K・バッカー「20マルク紙幣」『リアホナ』2009年6月号, 23
12. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』178
13. 『歴代大管長の教え——プリガム・ヤング』302－303
14. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』211
15. 2ニーファイ9：22；モルモン書ヤコブ6：9；モーサヤ16：8－10；アルマ11：41；33：22；40：21；ヒラマン14：17；モルモン7：6；9：13参照
16. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』212







十二使徒定員会
クエンティン・L・
クック長老

仮面をかぶらない

誤った選択をしないための最も効果的な防御の一つは、
匿名という仮面を一切かぶらないということです。

皆さんの真の姿について考えたとき、もしかすると皆さんは自分たちがどれほど重要な世代なのか十分に理解していないかという気持ちを感じました。皆さんは、特に天の御父の計画を推し進めていくうえで、今だかつてないほど卓越した世代となる背景や土台があるはずなのです。

皆さんに備わっている善をもたらす計り知れない可能性を考えると、皆さんの将来に対してわたしはどのような懸念を抱いているのでしょうか。皆さんにどのような勧告を与えることができるのでしょうか。その懸念の一つは、皆さん一人一人に、自分らしくない行動を取り、さらには仮面をかぶり、真の姿や理想の姿とは程遠い人間になるよう駆り立てる大きな力が加わるということです。

合衆国の歴史からの事例

2011年、L・トム・ペリー長老とわたしは名誉棄損防止同盟の全国理事を務めるエイブラハム・フォックスマン氏と会談しました。この同盟は、ユダヤ人に対する名誉棄損の防止をその使命としています。

フォックスマン氏との会合で、わたしは教会の広報におけるわたしたち

の責任に関して何か助言はないかと尋ねました。彼はしばらくの間考えてから、人々に仮面をかぶらないよう勧めることの重要性について説明してくれました。彼はクー・クラックス・クランについて話しました。20世紀初期、それはほとんどのアメリカ人に対して非常に大きな影響力を有する、きわめて恐ろしい組織でした。同一の衣装と覆面を身に着けているため参加者の特定はできず、攻撃対象とする人々の家の芝生の上で十字架を焼き、自分たちのことを、いわゆる、道徳の番犬と称していました。最大の標的となったのは、アフリカ系アメリカ人でしたが、カトリック教徒、ユダヤ人、移民も標的となりました。クランのメンバーの中で最も過激な人たちは、むち打ち、暴行、さらには殺人にも関与しました。フォックスマン氏は、クランの大多数は、覆面をかぶっていなければ、通常、会社員やまじめなクリスチャンを含む普通の人々であると指摘しました。自分の姿を隠し、覆面をかぶることで、普通であれば敬遠するような活動に加わることができるようになるのだと述べました。クランの行為はアメリカ社会に恐ろしい衝撃を与えました。

フォックスマン氏の助言は、人々に

真の姿を隠させる仮面をかぶらないことがいかに重要か強調するものでした。¹

教会歴史からの事例

初期の教会の歴史によると、預言者ジョセフ、エマ、そして11か月になる双子のジョセフとジュリアは、オハイオ州ハイラムにあるジョンソン農場に住んでいました。

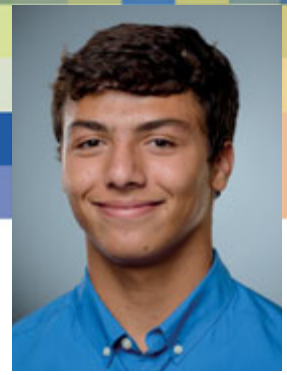
ある土曜日の夜、顔を黒く塗った男たちが家に押し入って来て、預言者を外に引きずり出し、そこで彼を殴ったり、彼とシドニー・リグドンにタールをかけたりしました。

「預言者は歯を1本失い、わき腹に重傷を負い、髪の一部が抜け落ち、硝酸によるやけどを負いましたが、通常どおり、日曜日の礼拝行事で説教をしました。そこに集まった聖徒に混じって、少なくとも4人の暴徒もいました。」²

預言者ジョセフと兄ハイラムの殉教にかかわった人たちが、正体を隠すために顔を塗っていたことも興味深いことです。³

仮面をかぶり自分らしくない行動を取ることを避ける

わたしは、皆さんの中に今話したような恐ろしい事件にかかわっている



人がいると言っているのではありません。匿名で行動することがかつてないほど容易になった現代において、仮面をかぶることなく、「……殉教者の持つ真理を信じ[る]」ことには重要な原則が含まれているとわたしは固く信じています。⁴

誤った選択をしないうための最も効果的な防御の一つは、匿名という仮面を一切かぶらないということです。もしそのようなことをしたいと思っている自分に気づいたら、どうぞこのことを心に留めておいてください。それは重大な危険信号であり、するべきでないことをさせようとする敵対者の道具の一つなのです。

興味深いことに、ポルノグラフィーにかかわる人の多くが、他人になりすまし、自分が関与していることを隠します。自分の行為を知られないようにするのは、その行為が自分にとって大切なすべての人に非難され、彼らに破壊的な結果をもたらすものだと知っているからです。ポルノグラフィーは疫病であり、個人の霊性を損なうだけでなく、結婚生活や家族関係を破壊し、社会に悪影響を与えます。

こうした破壊的な習慣に陥ってしまったとしても、悔い改めることができ、癒されるので、どうぞ安心してください。しかし、癒される前に悔い改める必要があります。癒しには長い過程が伴うこともあります。ビショップまたは支部会長から、癒されるために

必要な助けを受ける方法について助言を受けることができます。

信じていることに従って行動する

今日、インターネット上で、憎しみに満ち、辛辣で、独りよがりのメッセージを書くときに、自分の正体を明らかにしないのはめずらしいことではありません。そのような行為はフレーミングと呼ばれることがあります。意見を審査しようとする団体もあります。例えば、ニューヨークタイムズは「個人攻撃、卑わい、俗悪、冒瀆、……なりすまし、矛盾、**ののしり**」などが含まれる意見を容認しません。……

「ザ・タイムズも本名の使用を奨励しています。『本名を用いる人は、そうでない人よりも感じがよく、礼儀正しい会話を行うことが分かっているから』というのがその理由です。』⁵

使徒パウロはこう記しています——「まちがってはいけない。『悪い交わりは、良いならわしをそこなう。』

目ざめて身を正し、罪を犯さないようにしなさい。あなたがたのうちには、神について無知な人々がいる。」(1コリント 15:33 - 34)

明らかに、悪い交わりとは、悪いならわしだけを言うものではありません。末日聖徒である人がそれを行った場合、神に関する知識あるいは救い主についての証がない人に悪い影響を与える恐れがあります。

いかなる形であれ、インターネットを使っていじめたり、評判を下げたり、人

を不利な状況に追い込んだりするべきではありません。人々は匿名という仮面をかぶると、理解を深めるための対話を著しく妨げるこの種の行動に走りやすくなりますが、これが今の社会の現状です。これは救い主が教えられた基本的原則に反することでもあるのです。

義になかった人々は、仮面をかぶり、本来の自分を隠す必要はありません。

自らの務めを十分に果たしなさい

わたしたちは皆さんを大いに信頼しています。教会の中央幹部は、皆さんがこれまでのいかなる世代とも異なる方法で、王国を築くことができると心から信じています。わたしたちの愛と信頼だけでなく、祈りと祝福は皆さんのものです。皆さんの世代の成功なくして、とどまることのない教会の確立、そして王国の成長は考えられません。わたしたちは皆さんが、仮面をかぶることなく、自らの務めを十分に果たすよう祈っています。■

2012年3月4日にブリガム・ヤング大学アイダホ校で行われたヤングアダルトのための教会教育システム・デイボーショナルから抜粋。

注

- 2011年6月14日、エイブラハム・フォックスマン氏とニューヨーク州ニューヨーク・シティーにある氏の事務所で会談
- マーク・L・ステーカー、「Remembering Hiram, Ohio,」 *Ensign*, 2002年10月号, 35, 37
- 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』227 - 229 参照
- 「シオンの若者、真理を守り」『賛美歌』163番
- マーク・ブレント、「The Public Forum,」 *Salt Lake Tribune*, 2011年7月27日, A16



兄は わたしを信じてくれました

♪
ダンのおかげで、ないとばかり思っていた自分の才能を伸ばすことができました。

教会機関誌

デビッド・ディクソン

15 歳のときにわたしは自分の才能についての真実、もっと正確に言えばある特定の分野での才能に欠けていることに気づきました。歌えなかったのです。

地域劇のオーディションを受けた時のことです。アカペラで歌った独唱がひどすぎたため、気の毒に思った伴奏者が途中で出て来て曲を弾き始めました。歌い終わって、わたしは二度とだれにも自分の歌は聞かせないと誓いました。もう気持ちを切り替えて別の楽しみを見つけた方がいいと思いました。1度の惨めな経験でうんざりしたからです。

しかし、並外れて歌が上手な兄のダンにはほかの考えがありました。オーディションから何か月かたったころ、兄から最近歌うのをひどく怖がっているのはなぜかと尋ねられました。

「だめなんだ。歌えないんだよ」とわたしは言いました。ダンがわたしの言葉を信じませんでした。何度も断ったのですが、兄の説得に負けてその場で1曲歌うことになりました。緊張しました。

何を歌ったのか思い出せませんが、短くほとんど聞き取れないような声で歌いました。認められるような歌の才能はないと証明しているかのようでした。歌い終わったときにダンが言ったことを、わたしは生涯忘れないでしょう。「ほらね」と彼

兄弟を強める

「弟や妹、兄や姉との関係を強めましょう。彼らはあなたのいちばん身近な友達になるはずです。彼らが関心のある事柄を追求できるように助け、直面している問題を解決できるよう力になってあげてください。」

『若人の強さのために』
(小冊子, 2011年), 15

は言いました。「いい声をしているじゃないか。練習すればいいだけだよ。」

教義と聖約 38 章 25 節でわたしたちは次のように教えられています。「各人がそれぞれ自分の兄弟を自分自身のように尊びなさい。」年上のきょうだいがよくやるようにダンがわたしとわたしの歌を物笑いの種にしていたら、間違いなくわたしは恐らく生涯にわたって歌を歌わなくなっていたことでしょう。しかし、ダンがわたしを元気づけてくれました。励ましてくれたのです。

結局わたしは兄の助言に従い練習することにしました。驚いたことに、わたしは少しずつ上手になっていきました。歌うことはわたしの人生で大きな喜びとなりました。高校、大学、そしてその後も、わたしは多くの聖歌隊で歌いました。歌うことでわたしは今でも大きな喜びを感じています。

な喜びを感じています。

救い主はこう教えておられます。「見よ、人はろうそくに火をつけて升の下に置くだろうか。そのようなことはせず、^{しよくだい}燭台に立てて、家の中のすべてのものを照らす。」(3 ニーファイ 12 : 15) わたしはその光を照らし続け、これまで何年にもわたって音楽を楽しみ分かち合うことができました。しかし、それも兄のダンの励ましがなければ決してできなかったと思います。■



中央若い女性会長会
第二顧問
アン・M・ディブ



わたしには 家族 についての 証あかしがあります

何年も前のこと、わたしはワードである姉妹が証するのを聞きました。彼女が何を伝え、わたしがどう感じたか覚えていきます。リース姉妹は義になかった自分の家族、そして永遠の家族に関する知識が与えてくれた喜びと慰めに感謝しました。わたしは家族について同じ祝福と証にあずかりたいという心からの望みに御霊みたまの確認を感じました。

家族の重要性について証を得るのに役立つ提案を幾つかさせてください。

1. 祈りの気持ちで主の靈感を求め、研究するときを受けた印象を記録する。戒めを守ることによって自らの生活を清めてください。そうすることで御霊を受けるにふさわしくなることができ、御霊はあなたの探求を助けてくれます。

2. 20年ほど前に初めて預言者が発表した『家族——世界への宣言』を読む。¹ 預言者、聖見者、啓示者に関するわたしの証は、この文書を読み、家族に関して世界中で起こった変化について考えるときに強められます。

この宣言を読むときに、教義、助言、警告、約束された祝福、自分にとってそれらがどんな意味を持つかをよく考えてください。

3. 預言者と中央幹部の言葉を研究する。彼らの言葉は靈感に基づいており、その言葉に信頼を置き、従う人は祝福を受けます。例えば、トーマス・S・モンソン大管長は次のように教えています。「家族は生活の中で最優先しなければなりません。なぜなら、家族は、現在大切にしている価値観を守り、未来を築くために、人類社会が見いだした唯一の基礎だからです。」²

4. 聖文を研究する。聖文には義、従順、そしてイエス・キリストに関する証を信じる信仰に基づいて確立された家族についての例が数多く記されています。聖文、特に、モルモン書を次のように自問しながら読んでください。「現在と将来におけるわたしの家族にどの教えを応用するとき、わたしは祝福を受けるだろうか。」

5. 『若人の強さのために』、特に、「家族」の項を読む。家族の責任と祝福について学んでください。各会員が福音を中心とする一致した家族を作り、維持するために求められる活動についてよく考えてください。家族の中でどうすれば人間関係を深めることができるか理解してください。画面右側の関連記事の中から確信と慰めを見いだしてください。

実際、『若人の強さのために』の項はすべて、家族関係に直接関連しており、それを改善してくれることでしょう。家族の一人一人がその標準と戒めに

従うならば、聖霊がともにあるという祝福を受け、今も永遠にも個々の家族に祝福をもたらす神聖な神殿の儀式と聖約を受けるにふさわしくなることでしょう。

6. 聖文を研究し学んだことに基づいて行動し、学んだことを家族で応用する（教義と聖約 88：119 参照）。



家族に対する神の計画

「神は御自分の子供たちが、互いに愛し合い、慈しみ合い、子供を大切に育む父親と母親のいる永遠の家族の一員としてこの世に来るよう望んでおられます。このような経験があなたに当てはまらない場合は、忍耐し、続けて義になつた生活を送ってください。ふさわしい模範的な人を探してください。夫あるいは妻として、また親としての神聖な役割を果たすために、今から準備してください。神殿で結婚し、自分自身の永遠の家族を築く決意をしてください。」

『若人の強さのために』
(小冊子、2011年)、15

わたしは『成長するわたし』の「神から受け継いだ特質」の項にある第3番目の徳質の体験に取り組んだ若い女性から、感動的な証を聞いたことがあります。このプロジェクトで若い女性は、2週間、家族の一員とのきずなを強くするために特別な努力をします（若い男性も同じようなプロジェクトを『神への務めを果たす』〔2010年〕80-81の中に見つけることができます）。一人の若い女性が次のような経験を分かち合っています。「わたしは奇跡を経験しました。わたしは妹を愛しています。たったの2週間でその奇跡は起こりました。毎年、家族の一人一人と同じ経験をし、さらにきずなを強くする目標を立てました。どうしてですって？ この経験のおかげでほんとうに幸せになったからです。」

7. 家族の大切さについて御霊を通じて確信を祈り求める。忍耐強く、また注意深くあってください。証は御霊を通じて与えられます。なぜなら「家族は神によって定められたもの」であり「家族はこの世と永遠にわたって最も大切な単位である」からです。³

これらのことを行うことによって、あなたもリース姉妹のように、立ってこう伝えることのできる日がきっと来るでしょう。「わたしは家族について証があります。そしてこの知識はわたしに慰めと喜びを与えてくれます。」■

注

1. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129
2. *Teachings of Thomas S. Monson*, リン・F・カンネギーター編（2011年）、112
3. 『手引き 第2部——教会の管理運営』（2010年）、1.1.1

隠れた陥没孔に落ちないように、
道にとどまりなさい!

隠れた危険



教会機関誌
ジョシュア・J・パーキー



ガラバゴス諸島の一つである
サンタ・クルス島の頂上
近くに、「双子」と呼ばれる
ロス・ヘメロスがあります。この巨大
な二つの陥没孔はどちらもサッカー場
が幾つも入るほどの大きさです。穴の
縁から見ると、かつての神殿用に使わ
れた古代の人工採石場のように見え
ます。

この地域の自然の美しさとは裏腹
に、そうではない部分も隠れています。
熱帯に属するこの地域では、小道以外
は植物が生い茂っています。人々は地
盤のしっかりした場所を選んで小道を
作ってきました。しかし小道の両側の、
様々な植物や低木、ときには木々で
覆われた地面は、それほどしっかり
してはいない場合もあります。

もしも熱帯雨林を探検しようと、
ロス・ヘメロスを取り囲むこの小道
から離れてしまったらどうなるで
しょう。体重を支えるほど強くは
ない薄い土の層の部分に足を踏
み入れてしまうのは時間の問題
でしょう。その場合、どのくらい
深くまで陥落するでしょう。それ
は、底に着くまでは知る由も
ありません。サンタ・クルス島の
陥没孔の中には30メートル
以上の深さのものもあります。
地元住民の話によれば、ある陥
没孔はあまりに深すぎていまだ
に底が見つかっていないそう
です。

小道は特定のルートに沿っ
て伸びています。それに沿って
進みたくはないと思うかもしれ
ませんが、小道にいれば安全で
すし、行く先の保障もあります。

薄い土の層に注意して

福音に置き換えると、ロス・ヘメロ
ス周囲の小道は多くのことの象徴とし
てとらえることができます。例えば、戒
め、預言者の教え、『神への務め』や
『成長するわたし』に記されている勧
告、『若人の強さのために』の標準、そ
して福音そのものとして考えることが
できます。福音を実践するときや預言
者に従うとき、そして戒めの導きに従っ
て生活するとき、わたしたちは安全と
平安を見いだします。それをしない
場合は、少々危険な状態になり得ます。

戒めや教会の教えを窮屈に感じて、
従うことをやめたり、無視したりする誘
惑に駆られることもあるかもしれませ
ん。自分の生き方は自分で決めたい
と思うのです。

しかし、人々がロス・ヘメロス周囲
の小道のおかげで薄い土の層から陥
落せずに済んでいるのと同じように、
戒めはわたしたちの選択の自由を制
限するのではなく、むしろ幸福と成功
に通じる最善の機会を提供してくる
のです。わたしたちはいつでも、や
りたいことをやるという選ぴができ
ます。天の御父がわたしたちのために
用意してくださった道に従わず、自分
の道を進むと決めることもできます。
しかしその場合、安全を保障された
道に行くよりも早く目的地にたどり着く
ことは決してありませんし、その道を見
いだすのはつらく険しいものとなる
でしょう。

同じことが知恵の言葉などの戒めにも
当てはまります。天の御父も教会も、
わたしたちにアルコールを飲まない
ように命令することでわたしたちの選
択の自由を奪っているわけではありま



道のうえにとどまる

「したがって、わたしがあなたがたの主であり、^{あがな}贖い主である御方の行われることを先見して、これまで語ってきたことを、あなたがたも行いなさい。これらのことがわたしに示されたのは、あなたがたが入らなければならない門を知ることができるようにするためである。あなたがたが入らなければならない^{ひら}門とは、悔い改めと、水によるバプテスマである。そうすれば、火と聖霊によって罪の赦しが与えられる。」(2 ニーファイ 31 : 17 - 18)。

せん。わたしたちは自分でその戒めを守るかどうかを選ぶことができます。ただその選びをしたときには、それにつながる結果も選んでいることになるのです。

これらの戒めを破ることを選んだなら、それに伴う祝福をすべて失う危険が伴います。わたしたちはアルコールを飲むか飲まないか、様々な間違っことをするかしないかではなく、天の王国の祝福を受け、主から求められることを行いたいかどうかを選んでいるのです。そのとき、主を愛し主に帰依しているという動機が基になっていなければなりません。

小道にとどまることで得られる安全

サンタ・クルス島に暮らす二人の若い女性、ジェシカ・Pとノリー・Aはこのことを個人的に知っています。改宗者である二人は、戒めを守ることによる変化を経験してきました。ガラパゴス諸島にはあまり多くの教会員はいません(島の人口2万5千人に対して、支部の会員は125名だけです)。アルコールや麻薬などの誘惑は至る所にあり、まっすぐで細い道(1 ニー

ファイ 8 : 20 ; 2 ニーファイ 4 : 33 ; 31 : 7 - 19 ; アルマ 7 : 19 参照)にとどまることは難しい場合もあります。

ノリーは家族の中に様々な問題がありました。家族はバプテスマを受けて1年後、エクアドル・グアヤキル神殿で結び固めを受けました。しかし程なくして、家族のうち幾人かが教会から離れてしまったのです。ノリーと母親だけが教会に集っていた時期もありました。ノリーはどのように強さを保ったのでしょうか。

「家庭の夕べです」とノリーは言います。「しばらくは母と二人だけで開いていましたが、その後兄と父が加わるようになりました。福音を学ぶ度に父が言うんです。『これは自分のためだ』って。今では、父も兄も強くなっています。」

ジェシカは、ノリーとは別の悩みに直面してきました。「家族の中で自分だけが教会員なのは難しいです」と彼女は語ります。家族の中にはジェシカが教会に通うことをよく思わない人がいます。実際、そのせいで口論になることもあります。

「両親や家族が教会員だったらいい

なと思うときがあります」とジェシカは語ります。「家族といろいろなことを分かち合えるからです。それができないのはつらいですね。」

「問題があるとき、町に出て気晴らしになることを探したり、アルコールに頼ったりすることはできません。何の役にも立たないからです。わたしは、教会に行きます。そこには良い友達があります。」

「教会の友達はたくさん助けてくれます。落ち込んだら、ノリーやほかの若い女性がいます。教会に来ると、生きていくと実感します。生活の様々な問題から解放された気分になります。」

正しい道を選ぶ

ジェシカとノリーは福音生活に喜びを見いだしました。もっと正確に言えば、二人は福音を実践しているの喜びを見いだしたのです。

ロス・ヘメロスの小道と同じように、戒めはわたしたちの自由を制限するものではありません。救い主の^{あがな}贖いを通してわたしたちが完全になるために必要な導きを与えてくれます(教義と聖約 82 : 8 - 9 参照)。戒めを守ることを選ぶとき、わたしたちは神への愛と忠誠を表すこと、神権を^{あがな}尊ぶことを選んでいきます。聖霊を^{はんりょ}伴侶とし、靈感を受けるにふさわしくなることを選んでいきます。奉仕できるようになること、神殿に参入できるようになることを選んでいくのです。

最も大切なことは、永遠の命を受けて日の栄えの王国で天の御父と住む日を目指して努力する道を選んでいくことです。これが平安と幸福の道なのです。■



あかし

証に感動して

マイケル・ハーケン

伝道に出て間もないころ、わたしは韓国の小さな街で働きました。ある雨の日、同僚とわたしは多くの成功はない中でも帰宅時間まで働き続けたいと思い、あと何軒か戸別訪問をすることにしました。

ある家では女性が玄関に出て来て、同僚が彼女に話し始めました。伝道に出て間もないわたしは理解するのも大変でしたが、数分するとその女性が英語で話し始めました。彼女は合衆国イリノイ州のシカゴ出身で、家族と韓国に引っ越して来たことが分かりました。彼女の夫はわたしたちの信仰に対して好意的でない教会の牧師でした。

彼女は親切でしたが、モルモン書の誤りを立証し、わたしたちの教会が正しくないと説得したい様子でした。彼女の難しい質問に答えようとする同僚の傍らにわたしは立っていました。

同僚はモルモン書が正しい書物であり、彼女の役に立つということを証しようとしたのですが、彼女は彼が間違っていると信じていることを主張しました。

玄関先で30分ほど討論した後、彼女が同僚に尋ねました。「この世の生涯が終わったらわたしたちはどこへ行くのですか。」それまでと同様、彼女が何としても同僚の教えることを論破したいと思っているのが見て取れました。同僚は救いの計画について、また日の栄えの王国で家族とともに永遠に暮らすことができることを証しました。彼女は話を続けようとする同僚を遮り、家族がともにいられると言ったことをもう一度話してほしいと頼んできました。同僚は再び同じことを伝えました。わたしはとても強い御霊を感じ、彼女の目にも何か深く感動を覚えているのが分かりました。その

短くも力強い証の後、彼女はわたしたちと論争するのをやめ、モルモン書を手にとると、モルモン書について彼女と夫に話すためにまた来てほしいと言ったのです。

その晩わたしは、同僚の証が与えた影響に驚嘆しながら、同僚と歩いて帰宅したことを覚えています。わたしは、御霊を伴う証こそ、教えるうえで最も力強い手段であることが分かりました。わたしは、その同僚と、その晩の彼の証を決して忘れないでしょう。この経験の後、韓国語を話す力はつたなくても、何が何でも証を述べようと決心しました。実行するにつれ、どんどん御霊を感じ始めました。御霊により教えるとき、最もよくメッセージを伝えられることを学びました。■

マイケル・ハーケン兄弟は、アメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。

モルモン書が しゅっぱんされた ところ

きょうかい
教会れきしで
たいせつ
大切な 場所を たんけんしに
いっ
一しょに おいでよ!

きょうかい
教会きかんし

ジャン・ピンボロー

1829年のある夏の日、ジョセフ・スミスは合しゅう国 ニューヨークしゅうの パルマイラにある赤れんがの たて物に 入って 行きました。そこには エグバート・B・グランディンさんの せいはんじょがありました。よげん者は 金ばんの 文字を ほんやくしおわったばかりで グランディンさんに はじめての モルモン書を 5千さつ いんさつして ほしかったのです。春までに 新しい せいてんが いんさつされて 人びとが よめるようになりしました。

8さいの ルーク・Sは 183年前の 今月、どうやって モルモン書が いんさつされたかという すばらしい お話を 聞くために グランディン ビルに 行きました。■

グランディンさんの いんさつきは
いちに 16ページの
いんさつが でき、
これは それまでの
いんさつきの 2ばいです。

このへやには モルモン書を
いんさつするために つかった
どうぐの レプリカが あります。



写真：フレンチ・ウォルトン



このほこには タイプという
 小さな 金ぞくの 文字が 何千こも 入ります。
 大文字は「上の ほこ」と よべれます。
 上の ほこに 入れてあったからです。



しよく字工は
 しよく字ぼうという どうぐに
 文字を一つずつ おいていかなければ
 なりませんでした。



インクボールは
 インクを タイプに のせるために
 つかわれました。

インクを かわかすために
 いんさつされた ページが
 つるされました。



おりちょうと いう 大きな紙が
 せいほんじょに はこばれました。
 そこで紙をおって 小さな ページに 切って
 めい合わせられました。

モルモン書が はじめて 売られたのは
 1830年 3月 26日です。
 1さつ 1ドル75セントで、
 今のお金にすると やく 24ドル
 (訳注——約 2000円) でした。
 このお金を かせぐには
 ほとんどの 人は 2日間
 はたらかなければ なりませんでした。

いま モルモン書は 85の言語で
 毎年 何千さつも はっこうされています。
 モルモン書の いちぶは、さらに
 23の言語でも ほんやくされています。



ジョセフ・スミスは、
 モルモン書に
 せい書のように
 きれいな かわの
 カバーをつけて
 そこに
 金色の 文字を
 入れたいと
 思いました。

たいへんなしごと

モルモン書のお話で ルークのお気に入り、ニー
 ファイが しんちゅうの はんを 手に入れる ところで
 (1ニーファイ3-4しょうさんしょう)。ルークは ニーファイが
 しゅから もとめられたことを するために 一生けんめい がんばったところが
 すきです。ルークは モルモン書の いんさつも それに にていと 分かりま
 した。「ぜんぶの 文字を 上下はんたいに 後ろから ならばなくちゃ いけない
 なんて どんなに たいへんだったか 分かりました。」



あた　　ら　　ほ　　ん リックの新しい本

ローラ・バヤード

じつわ　　を　　も　　と　　に　　か　　か　　れ　　ま　　し　　た。
実話をもとに書かれました。

「かみのことば　よくきいて

みんなの　ひかりに　なりましょう」

（「よく聞いて」『子供の歌集』98）

リックが新しい本の表紙の金文字を手でなぞっているとき、友達が集まって来ました。

「すごいかっこいいね。」ジェークが言いました。「赤いモルモン書なんて、ぼく見たことないよ。」

「君のシャツのポケットにちょうど入りそうだね」とジャロムが言います。

「入るんだよ」とリックは自分のポケットに本を入れて、取り出しながら言いました。ちょうどそのとき、初等協会の会長が「みなさん、分かち合いによるこそ」と話し始めたので、男の子たちはおしゃべりをやめました。でもリックはどうしてもときどきその本に目をやっけてしまいます。

初等協会が終わってリックが託児に妹をむかえに行くとき、もうお父さんが来ていました。

「お母さんを見かけたかい？」とお父さんがたずねます。

「ううん。でももう帰る準備ができているといいな。おなかやすいたよ。」

お母さんを見つけたころにはおなかぐるぐると鳴っていましたが、お母さんの近くにバード兄弟姉妹が立っているのを見て、リックはにっこりしました。と言っても、立っていたのはバード兄弟で、バード姉妹はいつものように車いすに座っていました。バード姉妹は多発性硬化症という、筋肉を使うのが難しくなる病気にかかっている、お母さんが教えてくれました。ときどき痛そうだけど、いつもだれにでも笑顔でした。リックはワードの中で特にバード兄弟姉妹が好きでした。

「やあ、こんにちは、リック」とバード兄弟が言ってリックと握手をしました。「今日の初等協会はどうかだったかな？」



「すごくよかったよ。これをみんなに見せたんだ」とリックは小さな赤い本を取り出しました。

「それは何かしら」とバード姉妹が聞きました。

「ぼくの新しいモルモン書だよ。おじちゃんとおばあちゃんが送ってくれたんだ」そう言って、リックは本をバード姉妹に手渡しました。

「こんなの見たことないわ」と言い



ながらバード姉妹はポケットサイズの赤い本を両手に持って裏返しました。

「すごく小さくて軽いのね。わたしはね、モルモン書を読むのは大好きだけど、聖典を持っていると手がすごくだるくなって、何分かごとに休憩しなきゃいけないのよ。でも、これなら長い間でも持っていられるわ」と言って返してくれました。

リックは自分のカッコいい本を見ました。そしてバード姉妹を見ました。

「バード姉妹、どうぞ。これもらってください」と言ってリックはモルモン書を彼女の手にもどしました。

「ほんとうにいいのかい?」とバード兄弟が聞きました。

「いいんです」とリックは答えました。

「まあ、リック、ありがとう」バード姉妹の目がなみだでいっぱいになりました。「痛いとき、聖典を読んでいると何とか乗りこえられるの。リックの小さな本はとっても役に立つと思うわ」と言って、身を乗り出してリックをぎゅっとだきしめました。

車まで歩きながらお母さんが言いました。「ずいぶん静かね。本を上げてしまっで悲しいのかしら?」

「そうでもないよ。カッコよかったけど、家に別のモルモン書があるし。それに、外側よりも中に書いてあることの方が大事だと思うから。」

お母さんが優しくリックのかたをぎゅっとだき寄せました。

「ただ、おじちゃんおばあちゃんが、ぼくが本を上げちゃったことで悲しい思いをしないといいなと思って。」

「大丈夫、そんなことないわ。」

リックは、お母さんの言うとおりと感じました。■

ローラ・バヤード姉妹は、アメリカ合衆国オレゴン州に住んでいます。



「簡単にできること以上に精いっぱい頑張るならば、心の内にとても良い気持ちを感じ、思いやりが日常生活の一部となってい(き)ます。」

中央若い女性会長会第一顧問 メアリー・N・クック
「自分から始めよう 人に親切」
『リアホナ』2011年5月号, 120

メガンの こひつじ 子羊

ジュリーナ・K・ミルズ

実話をもとに書かれました。

「互いに務め合う」(モーサヤ2:18)

「**動**物は自分のえさ代は自分でかせぐんだよ。」お父さんの言葉がメガンの頭にひびきました。犬は羊の番をし、鳥は卵を産みます。羊からは毛が売れます。春になるとメガンは羊の毛刈りを手伝いますが、その分厚い毛はいつも緑の大地にとけていく雪のように見えました。

でもメガンの子羊はちがいます。去年生まれた小さな2ひきは、まだ小さ

イラスト ガイ・フランクス

すぎてえさ代をかせげるほどの毛は取れません。お父さんは肉屋さんに連れて行きたかったのですが、メガンは2ひきの小さくて弱い赤ちゃん子羊に心をうばわれてしまいました。メガンはその2ひきを飼わせてくれるようにお願いして、ついにお父さんが許してくれたのです。「ただし」とお父さんが注意をします。「2ひきの世話は全部メガン独りですなんだよ。」

初めはすべてがうまくいっていましたが、子羊たちがえさを食べ出したときには、誕生日にももらったお金で干し草を買ってあげました。でももう誕生日のお金はなくなってしまい、お父さんが借りている街はずれの牧場で草を食べさせるのはぜいたくすぎると言われてしまいました。それに、牧場に行ってしまったらなかなか2ひきに会えなくなってしまうことも分かっていました。最後の干し草を食べる子羊

たちを見ながら、メガンはため息をつきました。明日にはなくなってしまいそうなので、何とかして食べさせる方法を探す必要がありました。

閑いに寄りかかりながら、メガンは子羊の頭の白い毛をなでました。通りの向こうにはフラワーズさんがバラの手入れをしているのが見えます。何軒か先ではウィルモット夫人が足をひきずりながらゆっくり郵便物を取りに出ています。ウィルモット夫人はひとり暮らしの未亡人でした。たまにメガンのお兄さんがウィルモット家の落ち葉を集めてあげますが、ウィルモット夫人はお金をはらう余裕がなかったので、お兄さんはいつも文句を言っていました。

メガンはウィルモット家のしばがひどくのびていることに気づきました。「しばをかってあげることにしよう」とメガンは決めました。「でも今はだめ。子羊たちに食べさせる方法を見つけなくちゃいけないんだもの。」

突然名案がうかびました。ウィルモット家にはしばがあつて、メガンには草をはむ必要のある羊がいる。完璧な組み合わせです。メガンは子羊たちの頭をなでると、急いでウィルモット夫人の家に走って行きました。ウィルモット

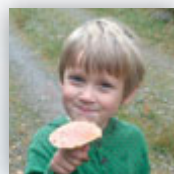
夫人はドアを開けると、お客さんが来たことに喜んでメガンにっこりほほえみました。メガンは自分のアイデアについて説明すると言葉がどんどん出て来ました。

「ウィルモットさん、どちらにとってもすごくいいと思うの」と言ってメガンは説明を終えました。そして息を飲んで返事を待ちました。

「わたしもそう思うわ」とウィルモット夫人が言いました。「お仲間さんたちにわたしも少しも助けてもらいましょうね。明日の朝一番で子羊たちを連れていらっしやい。」メガンとウィルモット夫人はおたがいにっこりしました。メガンは家に帰る間中ずっとここにこしていました。

次の日は、長くてすばらしい友情の始まりでした。メガンは毎朝学校に行く前に羊たちをウィルモット夫人のところに連れて行き、午後は夜帰るまでしばらくおじゃましました。こうしてウィルモット家のしばは完璧な長さに保たれ、メガンの子羊たちは自分のえさ代を自分でかせぐことができたのです。■

ジュリーナ・K・ミルズ姉妹は、アメリカ合衆国アリゾナ州に住んでいます。



きんじよのひとが もりできのこをとって かえってきました。ぼくの かぞくにも すこし わけてくれたので ぼくは おかあさんがきのこを きれいにするのを てつだいました。それが おわったとき わたしはその きんじよのひとが どれだけ たくさんのきのこを ひとりで きれいに しなれば いけないのかな、と かんがえました。かのじよのいえのドアを ノックすると なかに いれてくれて ぼくは おてつだいを しました。もし イエスさまが ここに すんでいたら きつと イエスさまも おてつだいを したとおもいます。

ジョナタン・L、5 さい(スウェーデン)





じゅうに しとでいんかいのかいじんは、
十二使徒定員会の会員は、
イエス・キリストの
とくべつなしょうにんです。

イエス・キリストはわたしたちにとって なぜそれほど大切な^{たいせつ}なのでしょう

じゅうに しとでいんかい
十二使徒定員会
ダリン・H・オークス^{ちやうろう}長老



イエスは^{そうぞうぬし}創造主です。



主は^{しと}使徒たちやほかの^{ひと}人たちに
しんけん^{ちから}神権の力をお授けになりました。



主の^{おし}教えは
わたしたちの
道を^{みち}照らし、
天の^{てん}御父のみもとに
もどる^{みち}道を
示^{しめ}してくれます。



イエス・キリストの
あがないは、
えいえん^{いのち}永遠の命の祝福にあずかる
機会^{あそび}を与えてくれます。

主の^{しゅ}復活^{ふっかつ}を通して
わたしたちは^{あまた}再び
命^{いのち}を得られます。

これが^{ちじょう}地上における
もっと^{たいせつ}大切な^{ちしき}知識です。
聖霊^{せいれい}が、これを
わたしに^{あき}明らかにして
くれました。
皆さんにも^{あき}明らかにして
くれます。

「イエスの^{おし}教え」
『リアホナ』2011年11月号、
90 - 91, 93 から

主は生きておられるから

マリビック・パシゲー、フィリピン、ネグロス・オキシデンタル州
 マリッサ・ウィディソン、教会機関誌
 実話をもとに書かれました。

「主は、ほんとうによみがえ(られた)」
 (ルカ 24:34)

ワトイは校舎に入る前に、外
 にかかっている色とりどりの
 フィリピン国旗の下で立
 ち止まりました。

「みなさん、おはようございます」と
 先生が言いました。「朝のいのりの
 時間ですよ。」

ワトイの周りの友達はみな、おでこ
 と胸と両方の肩にふれて十字を切り
 ました。そして、毎朝授業の最初にくり
 返すいのりの言葉を言いました。
 いつものように、ワトイはそれには加わ
 りません。代わりに目を閉じ、頭を下
 げて静かに自分のいのりをします。
 家や初等協会が教えられた
 ように、毎回ちがうこと
 についていました。

いのりを終えて顔を上げると、先生がこまったような表情で
 こちらを見ていました。

「放課後、話してもいい
 かしら」と先生が言いま
 した。

ワトイはつばをぐく
 りと飲みこむと、うな
 ずきました。しから
 れるのでしょうか。

一日の授業が終わ
 り、先生がワトイの方に
 近づいてきました。

「あなたはいつも十字を切ることも、
 朝のいのりの言葉を使うこともしない
 ようね。なぜかを話してもらえないか
 しら」と先生が言いました。

ワトイはほっとしてため息をつきま
 した。先生はおこっていたのではなく、
 理由を知りたかっただけなのです。
 どうやって答えようかとワトイは考えま
 した。

「それは」とワトイは話し始めました。
 「ぼくの教会ではおいのりするとき、
 いろいろなことを天のお父様にお話し
 するからです。それから、十字架を見
 ると、イエス様が亡くなったときのこ
 とを思い出しますが、亡くなったままじゃ
 ありません。イエス様は生きておられ
 ます。」

先生はこのことについて少し考えて、
 ゆっくりとうなずきました。

そして「話してくれてありがとう」と
 言ってくれました。

サッカーの練習に行く途中、ワトイ
 は心の中に温かくて良い気持ちを感じ
 ました。イエス・キリストについて人
 に教えるっていいなと思いました。■



復活祭の時期、わたし
 たちはイエス・キリスト
 が生きておられることをお
 祝いします。68-69
 ページの復活祭カウント
 ダウンの活動は、この特
 別な日の準備をするのに
 役立ちます。

イエス・キリストは わたしたちの すくいぬしです

七 十人の リ格蘭ド・R・
カーティス・ジュニア長老は、
子どもころ 川で 妹と
小さな ふねに のって あそんでいま
した。その ぼうけんは さいしょのこ
ろは 楽しかったのですが、ふねが
だんだん きしから はなれていくうち
に、二人は ふねが きけんな なが
れのある 川下に ながされていること
に 気づきました。

二人は 大声で たすけを もとめ
はじめました。その声を 聞きつけた
お父さんが、二人を たすけるために
ものすごい いきおいで ふねのところ
まで やって来ました。子ども 二人
では どうにもなりませんでしたが、お
父さんが 二人を たすけてくれたの
です。お父さんは 子どもたちを と
ても あいしていたからです。

わたしたちは ときどき 間ちがった
えらびをして、天のお父さまから れい
てきにはなれてしまうようなことを す
るときがあります。天のお父さまは
わたしたちを すくうために、ひとり子
である イエス・キリストを おくって
くださいました。わたしたちが くいあ

らためて、天のお父さまの ところに
ぶじに 帰り、いっしょに すめ
るように、イエス・キリストは
わたしたちの つみのために
くるしみを うけられま
した。すくいぬしは、

わたしたちだけでは どうしても でき
ない 大切なことを してください
ました。しかも よろこんで して
くださったのです。それは、わた
したちを とても あいしておられ
るからです。■



うた 歌と せいく

- 「主は みを つかわし」
（『子供の歌集』20）
- ヨハネ 3: 16

よげんしゃたちは すくいぬしについて あかししています

それぞれの あかしと そのあかしをした
よげんしゃの 絵を 組み合わせ、よげんしゃの
ばんごうを 四角の中に 書いてください。

□ 「わたしたちは、^{ちち}父が ^{よの}みこを ^{よの}すくい
ぬしとして おつかわしに なったのを見て、
その ^{あかし}を ^{する}のである。」(1ヨハネ 4:14)

□ 「また、すべての ^{じん}いはいは、まよい だらく
した ^{じょう}たいにあり、この ^あがないぬしに
たよらなければ ^{いつ}までも ^{おな}同じ ^{じょう}たいに
あることを ^のべた。」(1ニーファイ 10:6)

□ 「わたしは イエス・キリストが ^{しょう}らい
来られることを ^し知っている。イエス・キリスト
は ^{おん}こ、^{すな}わち ^{おん}父の ^{ひとり}子で、
めぐみと ^あわれみと ^{しん}りに ^みちておら
れる。^み見よ、^{よの}つみ、^まことに ^{その}
^みなを ^かつことして ^{しん}じる ^{すべて}の人の
^{つみ}を ^とりのぞくために ^来られるのは、この
おかたである。」(アルマ 5:48)

□ 「そして、^かみの ^{おん}こを ^{しん}じる
ものは ^{みな}、^{えい}えんの ^{いの}ちを ^うける。」
(ヒラマン 14:8)

□ 「わたしは ^ひっしに ^{つく}しがたい ^か
^がやきと ^{えい}こうをもつ ^ふたり ^おかた
わたしの ^う上の ^{くう}空中に ^たっておられるの
^みを見た。すると、^{その}うちの ^お一方が ^わたしに
^かたりかけ、^わたしの^なを ^よび、^べつのお^かた
を ^さして、『これはわたしの ^あいする子である。
^かれに ^ききなさい』と^いわれた。」(ジョセフ・
スミス—歴史 1:17)

□ 「イエスは……^いんに ^おける ^{おん}父の
^{ひとり}子です。わたしたちの ^あがないぬしで
あり、^{おん}父と ^{ひと}の ^あいだの ^ちゅうほしゃ
です。わたしたちの ^{つみ}を ^あがなうために、
^{じゅう}じか上で ^なくなられました。」(「主は ^し
^しけりと ^し知る」『リアホナ』2007年5月号, 25)



1. アルマ



2. ジョセフ・スミス



3. レーマンサムエル



4. ヨハネ



5. トーマス・S・モンソン大管長

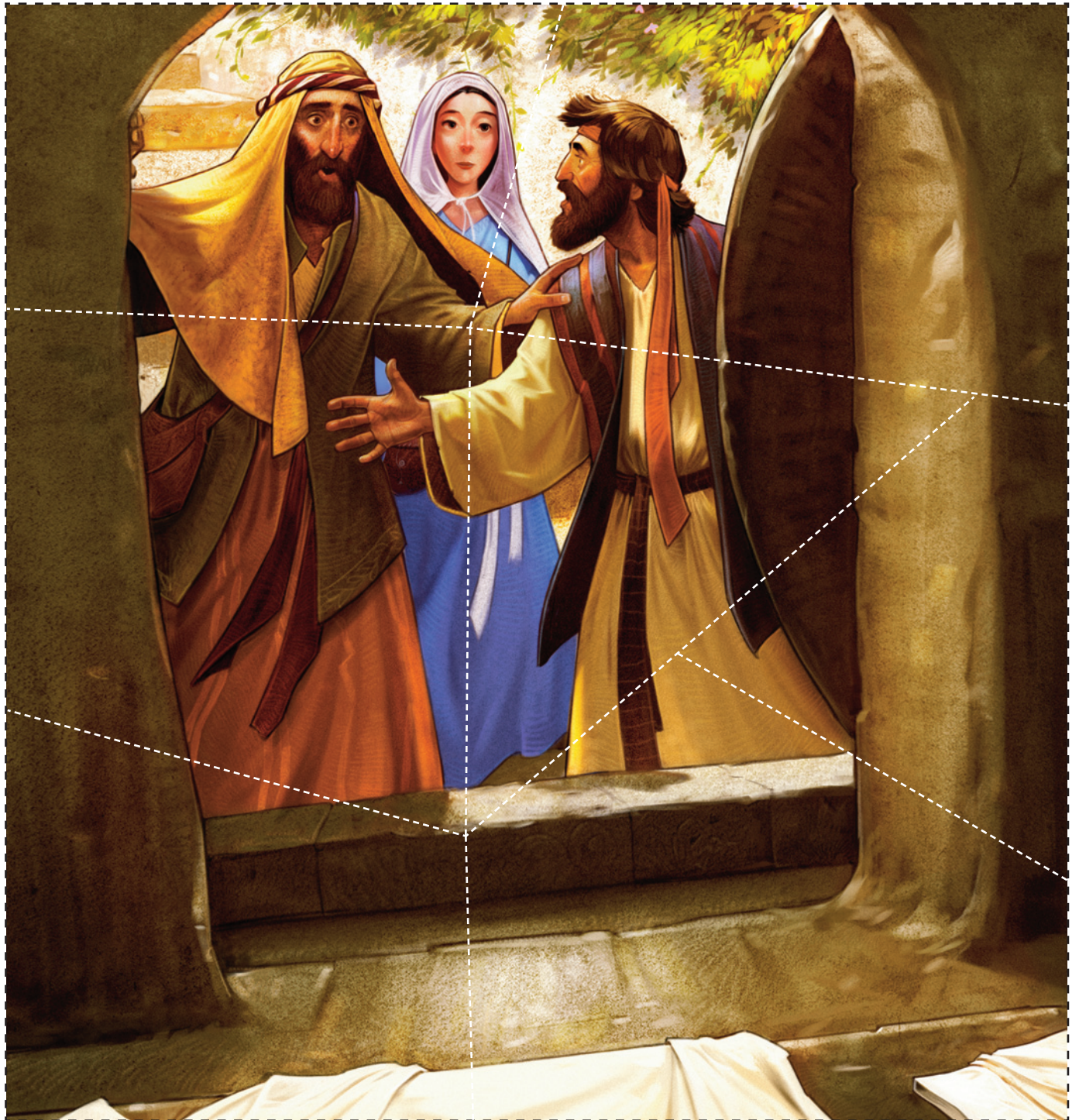


6. リーハイ

話し合しましょう

「主は ^しみ子を ^つかわしを ^うた後、^かしの ^ないようについて ^はな ^あ
キリストのように ^せいかつ ^なに ^なに ^かぞく ^なか ^あなたは ^なに ^かできる ^かんが ^ててみましょう。」

ふっかつさいの ^え 絵を かんせい させましょう



ふ っかつさいは、イエス・キリストのしょうがいとあがない、そしてふっかつを思いおこしておいわいする日です。ふっかつさいにそなえて、その日までにジグソーパズルの絵をかんせいさせましょう。まず、左にあるふっかつさいの絵を点線にそって切り分けます。ふっかつさいの1週間前から1日に1まい、切り分けたもの(ピース)をえらびます。そしてそれがどこに当てはまるか見つけ出し、そこに書かれていることをじっさいに行ってみましょう。そのあと、ピースをのりやテープで当てはまるところにはります。絵がかんせいしたら、いよいよふっかつさいです。

イエス・キリストについての
初等協会の歌を歌いましょう。
さあ、今日はどのようなことをして
イエスさまのものはんに
したがえるでしょうか。

げんだいの使徒たちが
イエス・キリストについて
書いたことばを讀んでみましょう。
「イエス・キリストはよの光、いのち、
そしてきぼうです。
イエス・キリストの道は、
このよにおいてはこうぶくに、
のちのよにおいては
えいえんのいのちにいたる道です。」
(「生けるキリスト——使徒たちの証」
『リアホナ』2000年4月号, 3)

わたしたちは
イエス・キリストを思いおこすために
毎週せいさんをとりまわります。
こんどの日曜日のせいさん会で
いつもよりけいけんにするためには
どのようなことができるでしょうか。

あなたのすきな
クリスマスの歌を歌いましょう。
イエス・キリストのたんじょうについて
どのようなことを学んだか
思い出してください。

お父さんやお母さんと
ヨハネによる福音書
だい3しょう
16せつと17せつを讀み、
どんなことが書いてあるか
話し合ってください。
どのようなことから
天のお父さまがあなたを
あいしておられることが
わかりますか。

65ページの
「主は生きておられるから」を讀んでください。
あなたはどのようにして
ふっかつさいについて大切なことを
友だちにつたえることができますか。

せいてんにある
イエス・キリストについての
すきな話を絵にかきましょう。
お父さんやお母さんにたのんで、
『聖書ビデオ——イエス・キリストの生涯』
(biblevideos.lds.org を見て、
ヒントをもらうのもよいでしょう。

天のお父さまからの おくりもの

きょうかい
教会きかんし

チャド・E・ファレス

じつわを もとに かかれました。



イサベルは 春^{はる}になったのが うれしくて たまりませんでした。小鳥^{ことり}の さえずりを 聞く^きのも、みどりの しばふ^{うえ}の上で あそぶのも 大^{だい}すきだったのです。

春^{はる}には ふっかつさい^ひがあるのも うれしいことでした。イサベルは ふっかつさい^ひが とくべつな日である^しことを 知^しっていました。ふっかつさい^ひの日 わたしたちは、イエスさまが 生きて ふたたび 地上^{ちじょう}にもどって来^こられたことを おいわれます。



しやうとうきやうかい
初等協会の クラスで、
マーティンしまいが 子^こども
たち ぜんいんに クレヨン
を くばりました。そして、
天^{てん}のお父さまから いた
いた いちばん すばらしい
おくりものを 絵^えに かく
ようと 言^いいました。

マイケルは かぞくの
絵をかきました。

イライザは、友だちの
絵をかきました。

アンソニーは、自分の
家の絵をかきました。



イサベルが みんなの絵を見ても、どれもとても上手にかけています。
わたしはなにをかこうかしらと、イサベルは思いました。かぞくがいることも、友だち
がいることも、家があることも、しあわせなことだと思いました。



でも、^{てん}天のお父さまが ^{ひと}すべての人に あたえてくださった おくりものについて イサベルは ^{かんが}考えました。天のお父さまは、^{てん}すべての人への ^{ひと}おくりものとして、すくいぬしを あたえてくださいました。そこで イサベルは クレヨンを手にとって イエス・キリストの ^え絵をかきました。

マーティンしまいが イサベルに、何の ^え絵をかいたか たずねました。

「イエスさまの ^え絵をかきました。だって イエスさまは わたしたちにとって いちばん すばらしい おくりものだから」と イサベルは ^{こた}答えました。■



イエス・キリストは 生きておられる

教会きかんし

チャド・E・ファレス



イエス・キリストは、じゅうじかに かけられた後 ふかつされま^あした。つまり、イエスさまは 肉^{にく}体^{たい}をも^もって 生^いきか^かえり、えいえんに 生^いき^かれ^れる^るとい^いうこ^こと^とです。イエスさまが ふかつされたこ^こと^とで、わたしたちも えいえんに 生^いき^かる^るこ^こと^とが^がで^できる^るよ^よう^うにな^なった^たの^のです。

イエスさまの しょうがいを あらわした 絵^えが 何^{なん}ま^まい^いか^かあ^あり^りま^ます。そ^それ^れぞ^ぞれ^れの^ので^でき^きご^ごと^とが^がお^おこ^こった^たじ^じゅ^ゅん^んば^んに 1番^{ばん}から 4番^{ばん}ま^まで^で ば^ばん^んご^ごう^うを 書^かい^いて^てく^くだ^ださ^さい。



教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は news.lds.org にアクセスしてください。

指導者、家族歴史と神殿を 一つに結びつけるように会員に勧める

教会のニュースと出来事

ヘザー・ウィットル・リグリー

2012年10月に大管長会は、会員に自分の家族の名前を使って神殿活動を行うよう呼びかける手紙を発表した。そこには、家族歴史を行ってから神殿に参入することで、会員がさらに大きな達成感を得られるよう、大きく5つの要点が述べられている。

会員はLDS.orgおよびFamily Search.orgで提供されるツールやリソースを使うことで、神殿に提出する名前を見つけ、準備し、分かち合うようにという呼びかけにこたえることができる。大管長会の手紙で説明された要点は以下のとおり。

1. 「教会員が自分の先祖の名前を見だし、それらの名前を儀式のために神殿に提出するとき、神殿での経験はとてつもないものとなります。」

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、こう語っている。「皆さんが神殿の中で行う業は、どんな業であれ、時間の使い方としては賢明です。しかし、皆さん自身の先祖の一人のために身代わりとなって儀式を受けることは、神殿で過ごす時間をはるかに神聖なものとし、いっそう大きな祝福をもたらしました。大管長会は次のように宣言しました。『わたしたち自身の先祖を探し出し、特定

することは、わたしたちにとって最も重要な義務です。』」（「死者を贖う喜び」『リアホナ』2012年11月号、93-94）

LDS.orgで、「リソース」「家族歴史」「わたしたちはなぜ自分の先祖のために神殿の業をするのでしょうか」の順にクリックして、なぜ自分の家族から名前を準備して神殿に持って行くよう要請されているのか、詳しく学ぶことができる（ビデオは「わたしたちはなぜ家族歴史の業を行うのでしょうか」の下に表示）。

2. 「自分自身の家族歴史を探求することが難しい会員は、ほかの会員や神殿が提供する名前で身代わりの儀式をするように勧められています。」

神殿が遠方にあるために参入が難しい教会員は多い。教会の指導者は彼らに対して、できる範囲のことをするよう励ましている。神殿が近くにない会員は家族歴史の探求を進め、神殿の儀式をほかの人にやってもらうことができる。

自分の先祖の家族歴史探求とその業がすでにすべて終わり、困っている会員もいるかもしれない。このような会員については、できればほかの会員から家族の名前をもらって参入を続

けるよう勧められている。

LDS.org/templesの「**神殿を見つける**」は、次回の神殿参入に備える際の助けとなる。

3. 特に、青少年とヤングシングルアダルトは「自分自身の家族の名前と、自分のワードおよびステークの会員の先祖の名前を神殿活動のために使う」ようお勧めします。

「若人の皆さんは、自分の生活からサタンの影響を排除するための確かな方法を知りたいと思いませんか。」スコット長老はこう尋ねた。「そのためには、先祖を探求することに深くかわり、神殿で受けられる神聖な身代わりの儀式のために彼らの名前を準備し、それから神殿に赴いて、先祖の代理人としてバプテスマと確認の儀式を受けることです。もう少し年齢が上になったら、皆さんはほかの儀式にも同じように参加できるようになります。わたしは、自分の生活をサタンの影響から守るうえで、これ以上に優れた方法を思いつきません。」（「死者を贖う喜び」94）

LDS.orgの「家族歴史」欄の「はじめに」には、神殿に提出する名前を準備する5つのステップが書かれている。

4. 神権指導者は、すべての会員が「自分たちの心を先祖に向けるように」という教義と神殿参入の祝福について確実に学ぶようにして下さるようお願いします。

「心に向ける」は、『手引き 第2部——教会の運営管理』の補助資料と



教会は、神殿へ家族の名前を準備する理由や、実際の方法について会員が理解できるよう活字とオンラインで多くのリソースを提供している。

して提供された指導者用リソースガイドで、会員が自分の先祖を見つけ出し、神殿で救いの儀式を行う責任を果たす際、ワードおよびステーク指導者に求められる支援について一助となるものである。これには、幾つかのステークが個人と家族を強めるためにどのように神殿と家族歴史を利用したのかをまとめたビデオが含まれている。

LDS.orgで、「リソース」「すべての召し」「神殿と家族歴史」「指導者のためのリソース」の順にクリックして、指導者のためのリソースを調べる。

5.「自分で神殿活動に携われるように、たくさんの家族の名前を予約している会員がおられます。そのような方

は、必要な儀式が執行できるよう、それらの名前の予約の解除を速やかにして下さるようお願いいたします。」

現在 FamilySearch.orgでは、家族がその先祖の儀式を執行する予定で1,200万人分の名前が予約されている。しかしながら多くの名前が、何年間も予約中になっている。

スコット長老はこのように述べた。「〔先祖は〕自分のための儀式が執行されるのをさらに待ち望まなければならないとしたら、失望しているかもしれないのです。皆さんの中に数多く名前を予約したままにしている人がいたら、皆さんの親族やワードやステークの会員にその業の執行を手

伝ってもらえるように依頼することをお勧めします。喜んで助けたいと考えているワードやステークの会員に依頼することで、それが可能になりますし、あるいはファミリーサーチを活用して、神殿に直接名前を送付することもできます。」「〔死者を贖う喜び〕94)

「家族歴史」のサイトの「はじめに」の欄で、「ほかの人と名前を分かち合いたいです」という表示の下に「ビデオを視聴する」があるので、これをクリックする。ここで「**神殿活動のために名前を公開する**」というビデオを視聴して、予約された名前を分かち合う際の参考にする。■

教会のプロジェクトで働きが必要とされる メディアのプロフェッショナル

チャーチニュース
ライアン・モーゲネツグ

世界中で起こる教会の出来事をより詳しく把握することを目指して、出版サービス部では、教会の映画、ビデオ、番組、ライブイベント、デジタルメディアの企画・製作に関心のあるメディアのプロフェッショナルの住所録、「メディア・プロフェッショナルズ・データベース」(mediapro.lds.org)を開設した。

データベースの第一の目的は、世界中の優れたメディアのプロフェッショナルを特定することであり、教会はできる限りたくさんの「入念に吟味された」、すなわち承認されたプロフェッショナル、個人、企業を取り込むことを願っている。データベースのプロ

メディア・プロフェッショナルズ・データベースから、教会は国際的なメディアのプロフェッショナルチームを率いて、より迅速かつ経済的に世界各地でビデオ撮影が行えるようになる。

ジェクトマネージャーであるスコット・オルセンは次のように語った。「教会は経験年数と実績のあるプロフェッショナルを探しています。これは趣味レベルのデータベースではありません。」

従来メディアプロジェクトを行う場合は、ユタ州の地元委託業者が雇われ、彼らにロケ先へ飛んでもらってビデオ撮影を行うか、プロジェクトを実施し、それを教会本部に返してもらってから仕上げるという方式を取っていた。教会にはプロジェクトに携わる視聴覚のプロフェッショナルがいるが、非常に多くのメディアプロジェクトを行う必要があるため、教会内のチームですべてを完成させることは難しい。世界中の優れたプロフェッショナルのデータベースは、教会のメディアに対する取り組みの将来を担っている。

オルセン兄弟はこう述べた。「教会がメディアプロデータベースを効果的に使いこなすには、世界中からもっと多くのプロフェッショナルを加える必要があります。そのサイトに対するわたしたちの目標は、経験豊かなプロフェッショナルを教会のデータベースに取り込むことで、世界各地でプロジェクトが立ち上げられたときに、彼らと連絡を取り、すぐさま作業を開始できるようにすることです。」

プロジェクトへの採用を希望するメディアのプロフェッショナルは、氏名、電子メールアドレス、および履歴書をmediapro@ldschurch.orgに送付する。履歴書には詳細な経歴とともに、過去の作品サンプル、専門技術および稼働できる頻度を記載する。「専門技術の中にはビデオ、映画、ウェブに共通のものがありますから、皆さんの技術について具体的に書いてもらうことが大切です」とオルセン兄弟は語った。

メディアプロに登録するだけで、教会で働く機会を保証されるわけではないが、プロフェッショナルであっても登録しなければそのチャンスをつかむことはないかもしれない。その情報と技術を登録することで、教会は彼らを特定し、次に打つ手を見つけられるのである。■



フォトクレジット/マシュー・ライアン

南アメリカで 発展を遂げる教会、 オークス長老と ベドナー長老の報告

チャーチニュース
ジェイソン・スウェンセン

教義と聖約の最初の部分には、教会が「暗黒から、また暗闇から」現れ出るといふ預言が含まれているが(1:30)、南アメリカの大半にその日がやって来たようである。

「わたしたちは暗黒と暗闇から抜け出たのです」と、10月に南アメリカから帰国した十二使徒定員会のベドナー長老は語った。「これが事実であることは、〔南アメリカの〕政府高官が教会を知り、認めている様子や、わたしたちがいつ赴いても教会の代表者を歓迎している様子から伺い知ることができます。」

ベドナー長老は、同じく十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老に同行して、10月19日から28日まで南アメリカ南地域を訪問した。その訪問には地域の評価会、宣教師と神権者の指導者会、それにチリ、アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイに放送された青少年およびヤングシングルアダルトのディボーショナルが含まれていた。

訪問した幹部は、その地域の4か国で奉仕する1,800人以上の宣教師と会った。「出会った宣教師全員と握手をしましたが、彼らは立派でした」とオークス長老は語った。「北と南アメリカから集結した精鋭部隊でした。」

さらには約1万5,000人が、地域の青少年およびヤングシングルアダルトのための二つのディボーショナルを視聴した。オークス長老は、その地域の326か所に放送されたヤングシングルアダルトのディボーショナルを管理した。ベドナー長老は、12歳から18歳までの若人とその両親



写真：南アメリカ南地域とチャーチニュースの歴史による

が439か所に集って視聴した、青少年のディボーショナルの管理役員として出席した。

訪問した幹部はそれぞれの訓練とディボーショナルにおいて、聖餐会の出席人数、神殿のエンダウメント、神殿結婚、それに専任宣教師として奉仕する若人の数が増えることを通じ、より高い次元で「真の成長」を遂げることの重要性について説いた。

青少年のディボーショナルでは、若い男性および若い女性に質問の時間が設けられた。中央幹部は、伝道の備えに関する質問から、邪悪の度を増す世の中で正義を貫くことまで幅広い質問に答えた。

また中央幹部は、伝道の業と定着率が増加する地域にのみ真の成長が成し遂げられるということを経験した。熟練した次世代の指導者を確実に生み出すには、活発な帰還宣教師の団が欠かせないとオークス長老は語った。

当時の地域会長で七十人のマービン・B・アーンルド長老は、中央幹部夫妻の訪問が「靈感あふれ、励ましとなる、非常に有益」なものであったことを伝え、彼らの愛と優しさとその教えは、ずっと記憶に残ることでしょう」と語った。■

チリ・
サンティアゴの
大司教を務める
リカルド・
エザッティ・
アンドレロ氏と
会見する
十二使徒定員会の
ダリン・H・
オークス長老。

ボイシ神殿を 再奉獻する モンソン大管長

チャーチニュース
サラ・ジェーン・ウィーバー

2012年11月、トーマス・S・モンソン大管長はアイダホ州ボイシ神殿を再奉獻した。建物は元々1984年に奉獻されていたが、大規模な改修工事のために結局15か月間閉館されていた。

再奉獻式前夜には、9,200人の若人の集団が青少年のための文化式典に集った。参加した青少年の数があまりにも多かったため、会場のボイシ州立大学構内のタコベルアリーナは満席となり、家族やほかの人々は別の離れた場所集ってそのプログラムを見ることとなった。式典の様子は、神殿の

エリア全域のステーキセンターに向けて放送された。

上演作品は通常よりも踊りを少なめに、神殿への備えについては多めの内容にしたと、青少年文化式典分科委員長のゲーリー・ウォーカーは語った。

式典でモンソン大管長は青少年にこう話した。「神殿は、その放つ光に従うすべての人に正義のかがり火となって輝きます……わたしたちはその光を大切に、天の御父がこの神殿とすべての神殿を通してわたしたちの生活に与えてくださる祝福に感謝します。」

日曜日の奉獻式にはベドナー長老も出席し、次のように教えた。「世界中どこにあっても、神殿からはぬくもりや、光、神々しさ、輝きが放たれています。」

アイダホ州ボイシ神殿は、地域内の31ステーキから約10万人の末日聖徒を受け入れる。■

アイダホ州ボイシ神殿の再奉獻式前夜の文化式典で、
教会員に愛と感謝の気持ちを伝える
トーマス・S・モンソン大管長。



興味を引きます

『リアホナ』を受け取るのを楽しみにしています。いつもわたしの悩みに答えるために来るかのように感じますし、わたしを強めてくれます。リアホナを外で、特にバスの中で読むのが好きです。リアホナは見た目にも美しく、絵も豊富な雑誌なので、たくさんの人の興味を引きます。それが伝道の機会となっています。このすばらしい機関誌を作ってくださいる全員に感謝します。

セシリア (ブラジル)

称賛すべき索引

わたしは、バプテスマを受けて間もない1999年4月から『リアホナ』を読み始め、毎回必ず最初から最後まで目を通します。リアホナは何という祝福でしょう。その記事とメッセージは様々な方法で役に立っていますが、特に年間の索引はすばらしいと思います。記事を探したり、もう一度読みたいときやレッスンで使いたいときにとても役に立ちます。索引はタイトルや著者、テーマごとにきちんと整理されているので、普段から使っています。『リアホナ』チーム全員のすばらしい働きに感謝します。

デニス・ロベス・サントス (ブラジル)



2012年9月の奉仕の日に、
 好天の下でチェコ共和国とスロバキア共和国から来た多数のLDSボランティアは、
 ジリナ貯水池の険しい土手に沿って何時間も根気よく働き、
 空き瓶、紙、プラスチック、ダンボール、発泡スチロールやその他のごみを回収した。

スロバキア共和国、奉仕の日

2012年9月8日、チェコ共和国とスロバキア共和国から130名を超える会員が、かつてのチェコとスロバキアの宣教師とともにスロバキア共和国のジリナに集まり、市の奉仕作業に当たった。ジリナ貯水池の土手から出たごみ1.5トン（1.3メトリックトン）を清掃し、市の幼稚園や託児施設の建物を修繕し、町のあちこちに置かれたプランターの草取りを行った。

「ボランティアが一生懸命働く姿や、その笑顔、その目に映る喜びを見るのは感動的です。」 こう話すハナ・スナヤローバは、家族がスロバキアの初期の改宗者である。「だからこういうプロジェクトが大好きなんだと思います。助けたり、奉仕したりすることが喜びです。」

独立型スペイン語新約聖書発刊

教会はこのほど、スペイン語の *Santa Biblia: Reina Valera 2009* から新約聖書のみを取り出した独立型版を発刊した。これで教会員もそうでない人も同様に、もっと簡単に、そして便利に聖典を読めるようになる。

この新しい版は標準サイズで、新約聖書の引用、脚注、ジョセフ・スミス訳の抜粋が含まれている。

独立型スペイン語新約聖書はソフトカバーで、教会配送センターか store.lds.org (item no. 09215002) を通じて購入できる（訳注—— store.lds.org は日本では利用できません）。

南アメリカ南地域会長会の変更

2013年1月6日、ウォルター・F・ゴンサレス長老が七十人会長会から解任され、アルゼンチン・ブエノスアイレスで南アメリカ南地域会長を務めるマービン・B・アーノルド長老の後任となった。アーノルド長老は教会本部で新しい責任を受けた。

ホルヘ・F・ゼバヨス長老とフランシスコ・J・ビーナス長老は、引き続きその地域会長会の顧問として奉仕する。

大管長会からの手紙には、「これらの中央幹部の献身的な働きに感謝の意を述べ、彼らが責任を無事に果たせるよう祈ります」と書かれている。

ボツワナ初のステーキ組織にわく聖徒

2012年11月、約900名の教会員がアフリカ・ボツワナに集い、この国初のステーキとなる新しいボツワナ・ハボローネステーキの組織に立ち会った。

アフリカ南東地域会長のデール・G・レンランド長老と、地域七十人のコリン・H・ブリックネル長老がその会を管理した。ステーキ会長にはクレメント・M・マツワゴサタが召され、第一顧問にはジェフリー・テンボ、第二顧問にはオドゥエツェ・S・モクウェニが召された。

「ステーキは安住の場、学びの場、高潔と安らぎの場、秩序の場、思いやりと愛の場、神の住まわれる場となります」と南アフリカ・ローデポルトステーキ会長のダニエル・ホールは述べた。

危険区域からの救助

ラッセル・ウェスタガード

湾岸戦争の最中、わたしは一つの隊を率いてクウェートに入りました。敵の防御を突破した後は、自分たちの安全を確保するために敵の戦闘陣地を見つけ出し、情報上価値のあるものを探しました。

占拠された司令所にちょうどわたしが入ったとき、イギリス人軍曹が半狂乱になって「止まれ！ 一歩も進むな！」と叫ぶ声が聞こえました。掩蔽壕から顔を出して見ると、わたしの兵士の一人が差し迫った危険にさらされているのが見えました。書類を取りに空き地に歩いて行った彼女は、そのとき大きな地雷埋設地帯の真ん中に立っていたのです。彼女は軍曹の叫び声を聞いて立ち止まり、自分の身に迫っている危険を理解しました。

隊の兵士たちが地雷埋設地帯の周りに集まると、その若い兵士がひどくうろたえ、ぶるぶると震えているのが分かりました。直ちに行動する必要がありましたが、兵士を救出に向かわせれば、彼女だけでなく他の兵士の命も危険にさらすことになります。わたしたちは相談することも躊躇もなく、その兵士に声をかけ始めました。慰め、励まし、指示を与えたのです。涙を流し、恐れを口にしていた彼女も、励ましの言葉を受けて少しずつ落ち着きを取り戻し始めました。

やがて彼女は勇気を振り絞って自分が来た方向を振り返ると、砂の上にかすかに自分の足跡が見えることを伝えてくれました。彼女は、わた



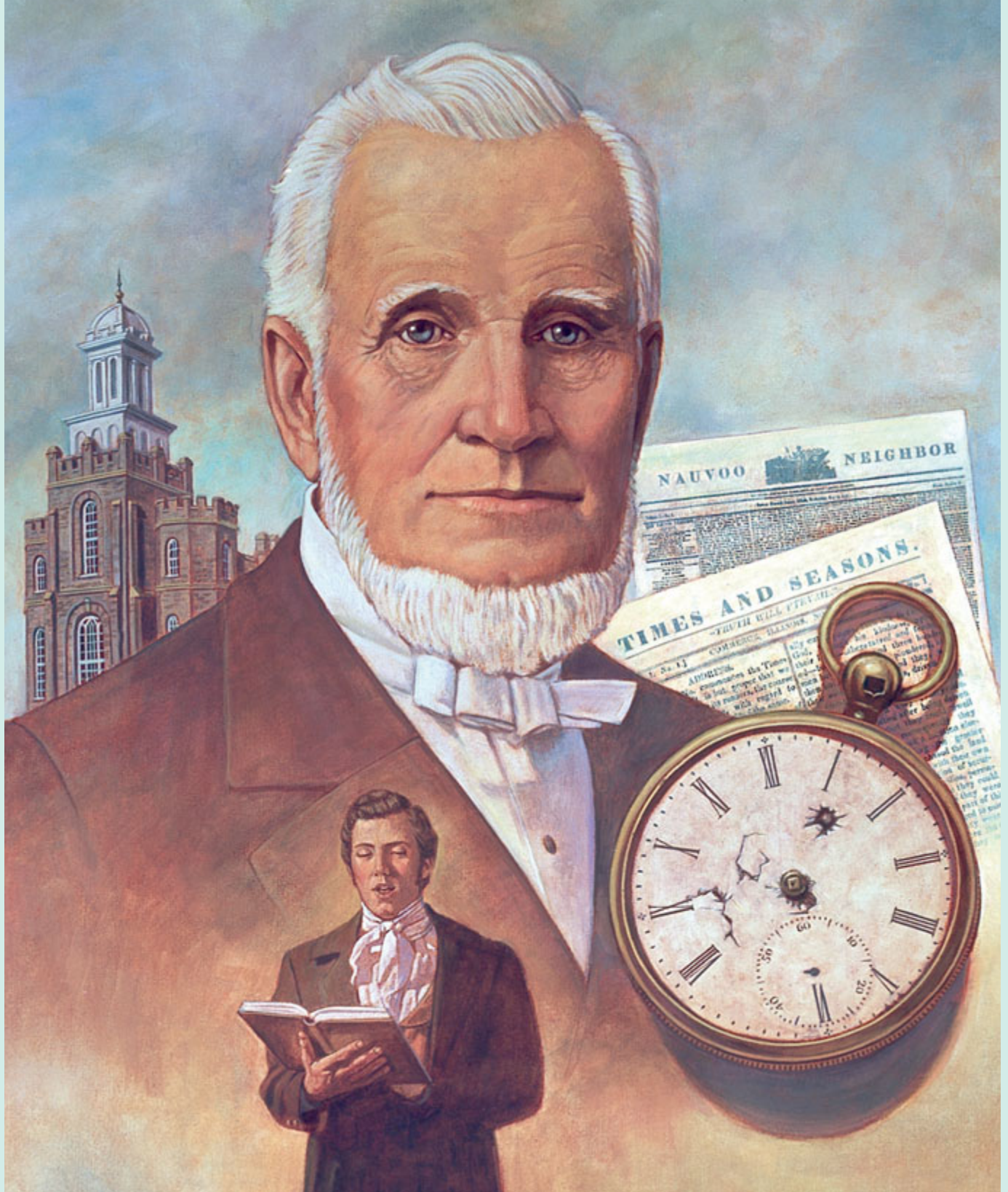
わたしたちは
身動きの
取れなくなった兵士を
助けに行くことは
できませんでしたが、
彼女を励まし、
頑張りを応援し、
彼女の成功を
喜ぶことは
できました。

したちの励ましを受けながら、ためらいながらも来たとおりに引き返し始めました。自分がつけた足跡一つ一つにそっと足を乗せ、最後の一步を踏んで地雷埋設地帯から抜け出した彼女は、迎え待つわたしたちの腕に飛び込んで来ました。境界線で待っていた相当な数の兵士たちが、彼女を迎えて喜びの叫び声を上げました。恐怖のために流した涙は笑顔と抱擁に取って代わりました。

本物の地雷埋設地帯の縁に立ったことがある人はほとんどいません。しかしわたしたちの多くが、霊的に安全な場所から離れて人生の危険区域に入り込んでしまった人々を知っています。彼らも、あの若い兵士のように孤独や恐怖、不安を感じているかもしれません。でもあの兵士は独りぼっちになることはありませんでした。そばで励ましてくれる隊の仲間、彼女が戻って来るのを必要とし、あきらめない友達がいました。指示や励ましを与えてくれる指導者たちもいました。彼女は自分自身で危険区域から抜け出さなければなりませんでしたが、その力が得られるように、わたしたちは団結して助けました。最後には真の愛と喜びをもって彼女の救出を祝いました。

霊的な救出もこのように劇的なものになり得ます。家族として、友人として、またはワードや支部として手を差し伸べれば、その努力が違いを生み出します。あの兵士の命を救ったのは多分、時宜を得た励ましや導きの言葉でしょう。同じように、わたしたちは霊的な暗闇という危険の中にいる人々に励ましと導きを与えることで救助の手を差し伸べ、最終的にそこから戻って来られるように助けることができるのです。そうするならば、この世の短い時間だけでなく、永遠にわたって大きな喜びを受けるでしょう（教義と聖約18：15参照）。■

ラッセル・ウェスタガード兄弟は、アメリカ合衆国バージニア州に住んでいます。



イラスト／ロバート・T・パレット

ジョン・テラー

ジョン・テラーは、^{うた}歌を ^{うた}歌うのが とても すきでした。カーセージの ろうごくに
 入れられていた ジョセフ・スミスは、テラー長老に「悩める ^{ちやうろう}旅人」(『賛美歌』
 15番)を ^{うた}歌ってくれるように ^{うた}たのみました。その歌は、しが ^{なや}まぢかに ^{さんび}せまった
 よげんしゃの ^{こころ}心を いやしてくれました。ジョン・テラーは、よげんしゃが ^{うた}ころされた
 とき ^ばその場に ^いいました。ジョン・テラーも 4はつの ^{じゆうだん}じゅうだんを ^あびましたが、
 きせきてきに ^いのちは ^いたすかりました。ポケットに ^い入っていた ^{どけい}かいちゆう時計が
 テラー長老の ^{ちやうろう}いのちを ^{きやうかい}すくったのです。教会の ^{だい}大管長として ^あはたらいている間に、
 テラー^{だい}大管長は ^{きやうかい}たくさんの ^{うた}教会しゅっぱんぶつを よに ^だおくり出すために ^{ちから}力を
 つくしました。また ^{うた}ユタしゅうの ^{うた}ローガンしんでんを ^{うた}ほうけんしました。



子供の成功を願う賢明な両親は、
立ち直ることと自立の原則を教えます。
今月号の10ページに掲載されている
「立ち直りの早い子供に育てる」では、
立ち直りの早い子供は
試練や変化によく対処でき、
失うことは勝利につながることを
受け入れていると指摘しています。
20ページの「自立の原則を実践する」では、
自立することは、善いことを行う能力を
高めることだと教えています。

末日聖徒
イエス・キリスト
教会